

平成30年度 JREC-IN Portal 利用者の満足度調査 (登録求人機関向け)

2019年2月21日(木)

■ 目次	2頁
■ 調査概要	3頁
■ 回答者プロフィール 1	4頁
■ 回答者プロフィール 2	5頁

【詳細編】

■ 応募者の募集・選考・採用への関与	7頁
■ JREC-IN Portal 求人活動への役立ち度	8頁
■ 役に立っている（立ちそうな）理由	9頁
■ 役に立っていない（立ちそうにない）理由	10頁
■ 十分な応募数、欲しい人材の確保に役立たないと考える理由	11頁
■ 求人公募情報の掲載・提供先	12頁
■ Web応募機能 認知度	13頁
■ Web応募機能 利用経験・意向	14頁
■ Web応募機能 利用した感想	15頁
■ Web応募機能 非利用理由	16頁
■ 「求職者のアピール情報の検索・閲覧」「求職者照会メールの送信」機能の利用経験	17頁
■ 「求職者のアピール情報の検索・閲覧」「求職者照会メールの送信」機能を利用した感想	18頁
■ 「求職者のアピール情報の検索・閲覧」「求職者照会メールの送信」機能 非利用理由	19頁
■ 求人公募で受け付けている履歴書フォーマット	20頁
■ 書式統一化の実現性	21頁
■ 求人公募情報の閲覧回数確認機能 利用経験	22頁
■ 求人公募情報の閲覧回数確認機能 利用した感想	23頁
■ Web応募改善機能 利用経験	24頁
■ Web応募改善機能 利用した感想	25頁
■ 各コンテンツ役立ち度	26頁
■ 募集期間終了後の公募公開について	27頁
■ JREC-IN Portalに対する意見（抜粋）	28頁
■ 今後開催してほしいイベント	29頁

【質問票】

■ 質問票1	31頁
■ 質問票2	32頁
■ 質問票3	33頁
■ 質問票4	34頁

調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供するJREC-IN Portalについて、利用者層や利用状況、満足度等の調査を実施し、結果を事業企画や評価、広報宣伝活動に活用する。

対象者条件

JREC-IN Portal登録求人機関

サンプル数

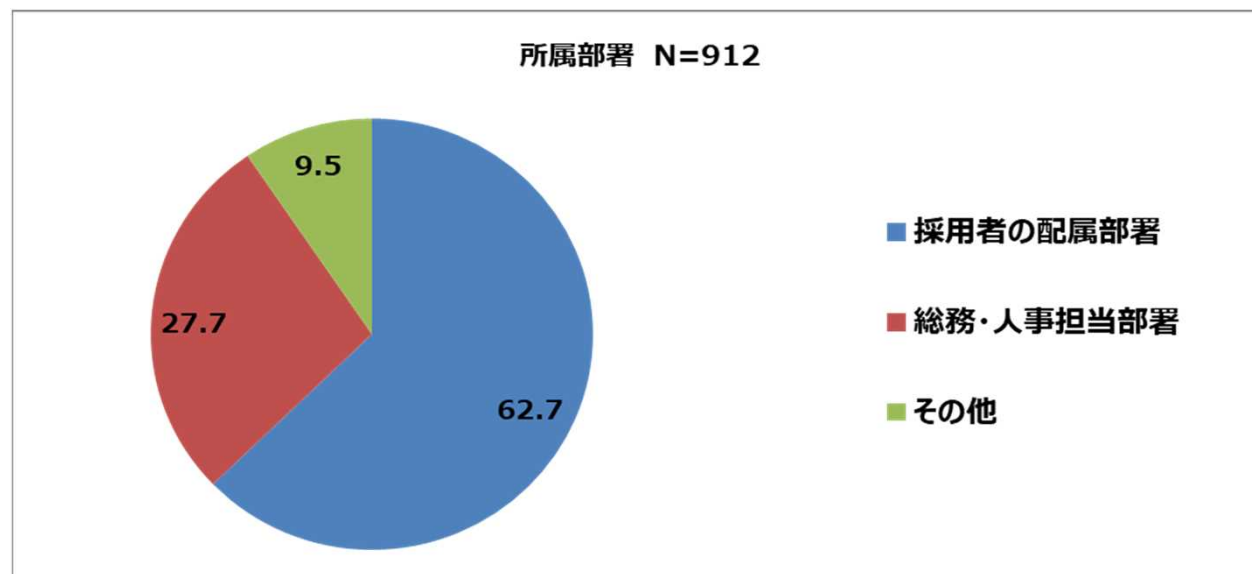
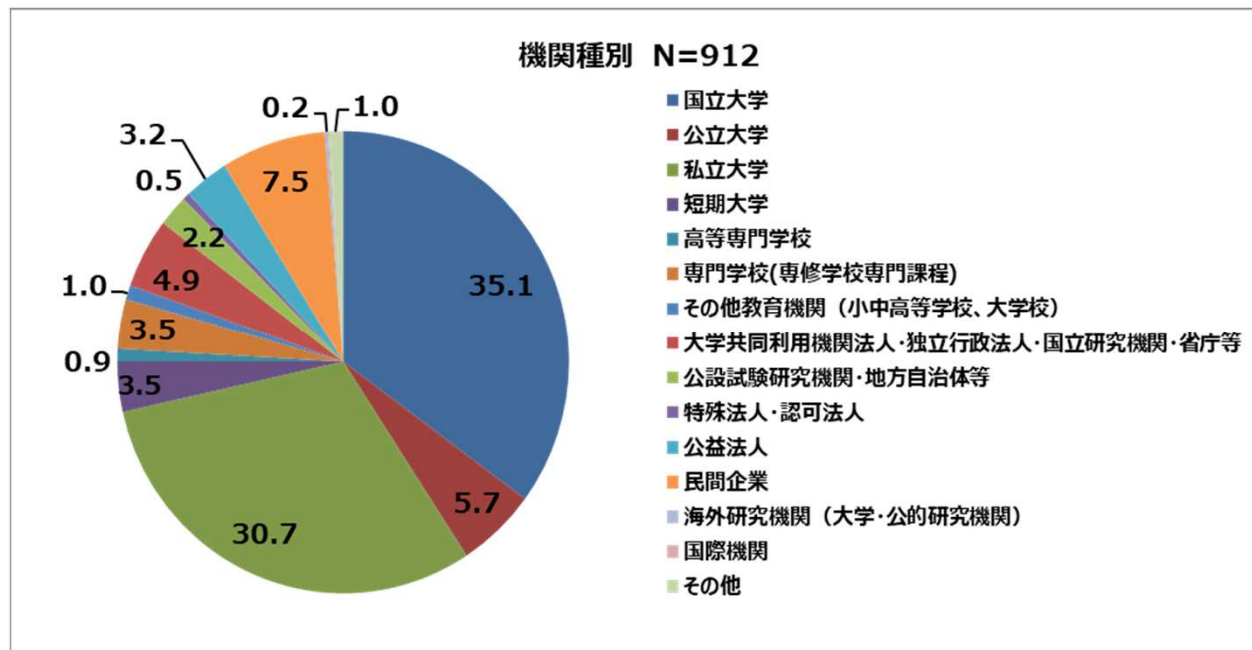
912人

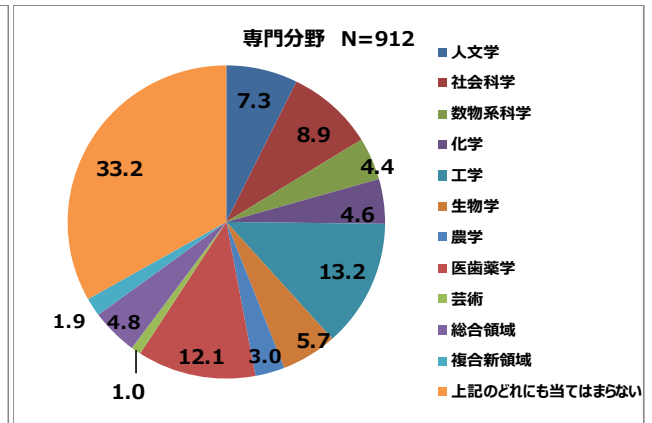
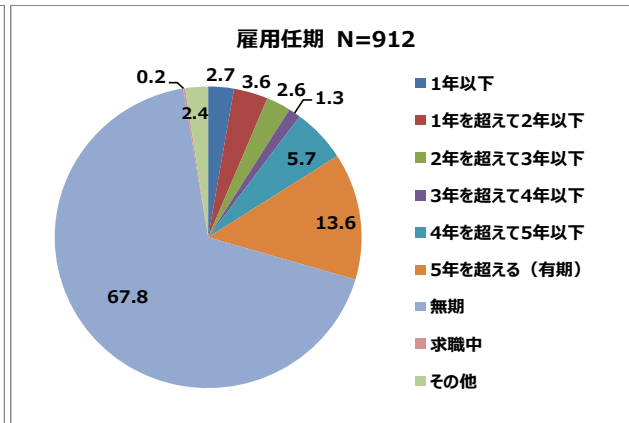
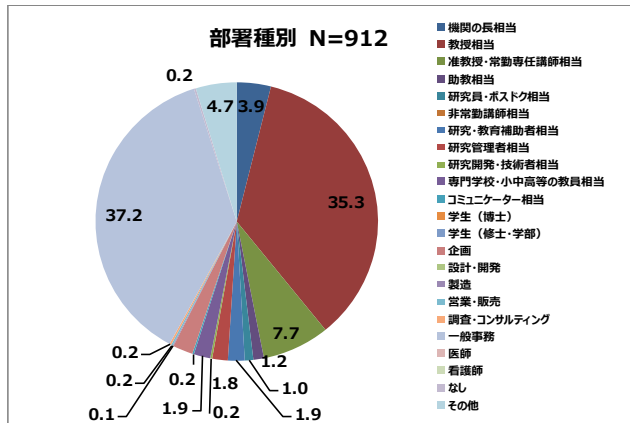
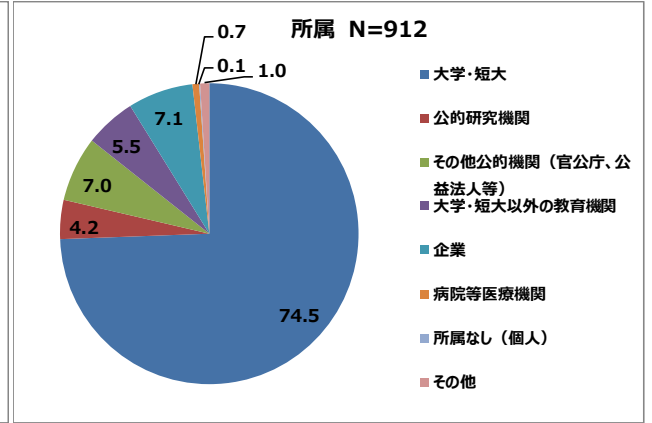
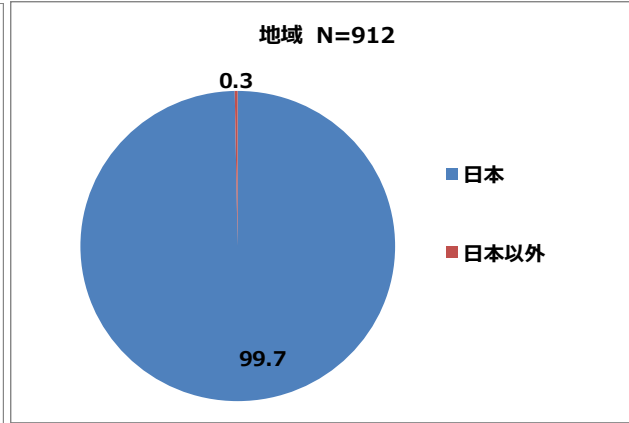
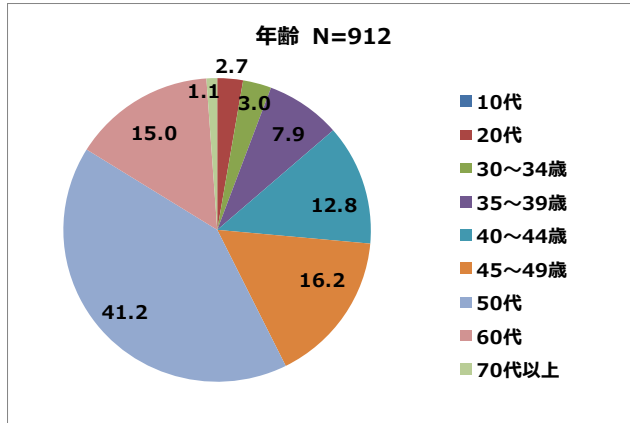
調査手法

インターネット調査

調査期間

2019年1月10日（木）～2月8日（金）







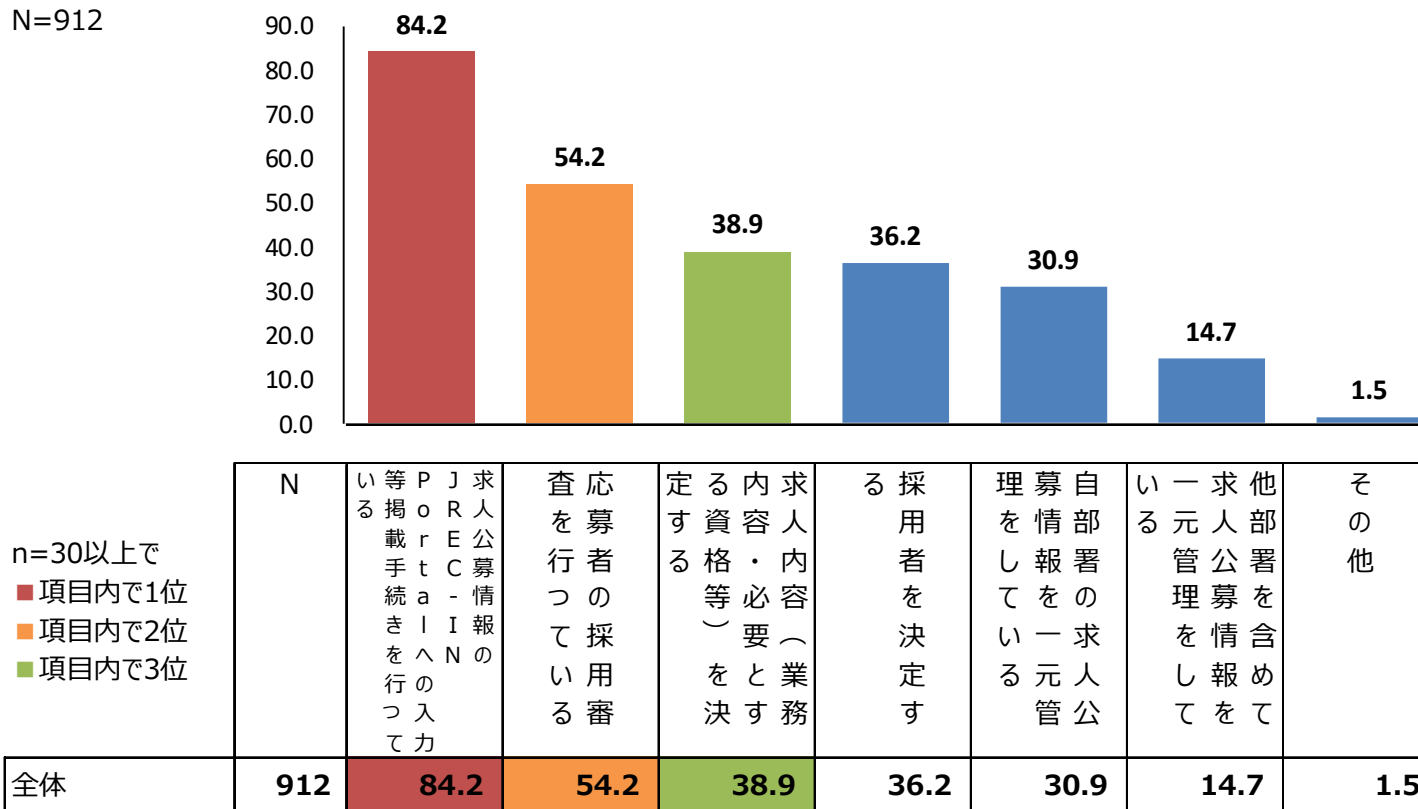
詳細編

<設問種別>

SA..... 単一回答
MA..... 複数回答
NA..... 数値回答
FA..... 自由回答

問3. ご自身が応募者の募集・選考・採用にどのように関わっているか、該当と思われる項目を以下よりお選びください。（複数選択可）

- 応募者の募集・選考・採用への関与は、「求人公募情報のJREC-IN Portalへの入力等掲載手続きを行っている」という回答が84.2%で最も高く、次いで「応募者の採用審査を行っている」の54.2%、「求人内容（業務内容・必要とする資格等）を決定する」の38.9%の順に続いている。



※全体値を降順に並び替え

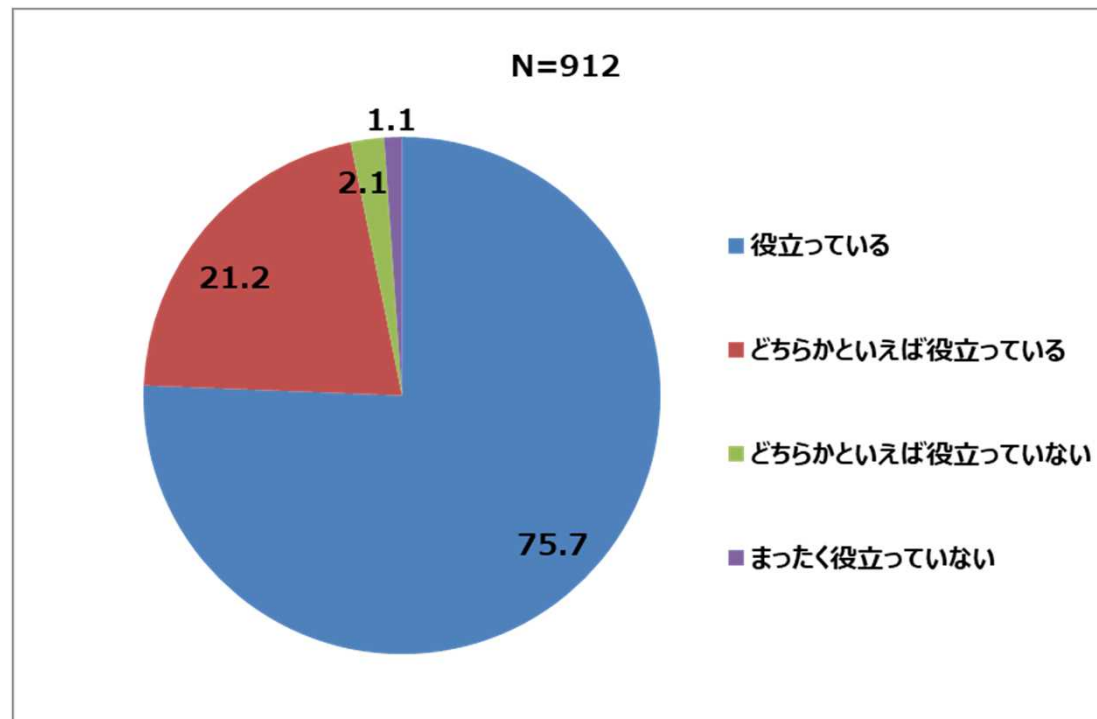
※単位：%

問4. JREC-IN Portalは求人活動に役立っていますか。または、役に立ちそうですか。（1つ選択）

- JREC-IN Portalの求人活動への役立ち度は、「役立っている」という回答が75.7%であった。役に立っているというポジティブな回答は96.9%を占め、大多数が満足しているということが伺える。

役に立っている 計	96.9
役に立っていない 計	3.2

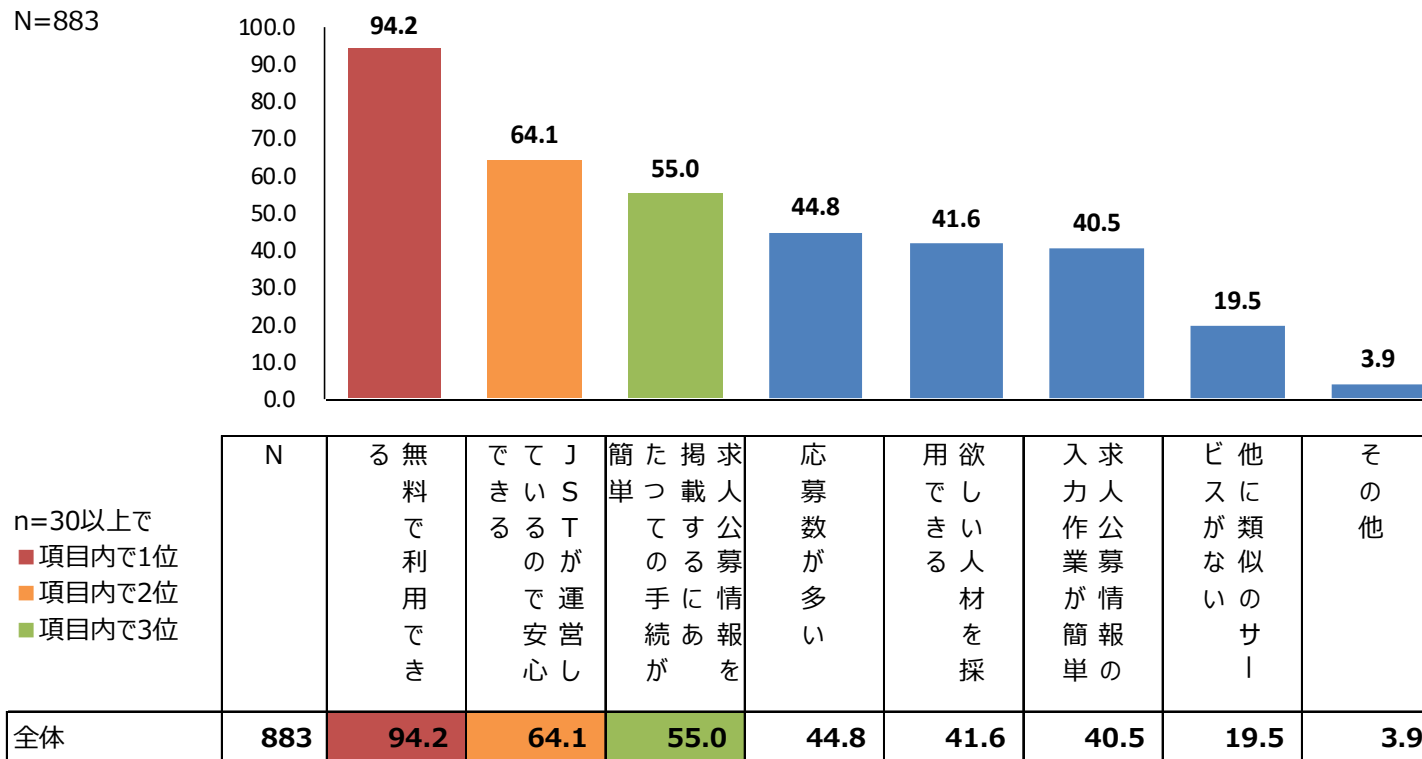
単位：%



問5. 役に立っている(立ちそうな)理由として当てはまるものをお選びください。(複数選択可)

- 役に立っている(立ちそうな)理由は、「無料で利用できる」という回答が94.2%で最も高く、次いで「JSTが運営しているので安心できる」の64.1%、「求人公募情報を掲載するにあたっての手続きが簡単」の55.0%の順に続いている。

JREC-IN Portal「役に立っている・どちらかといえば役に立っている」回答者



※全体値を降順に並び替え

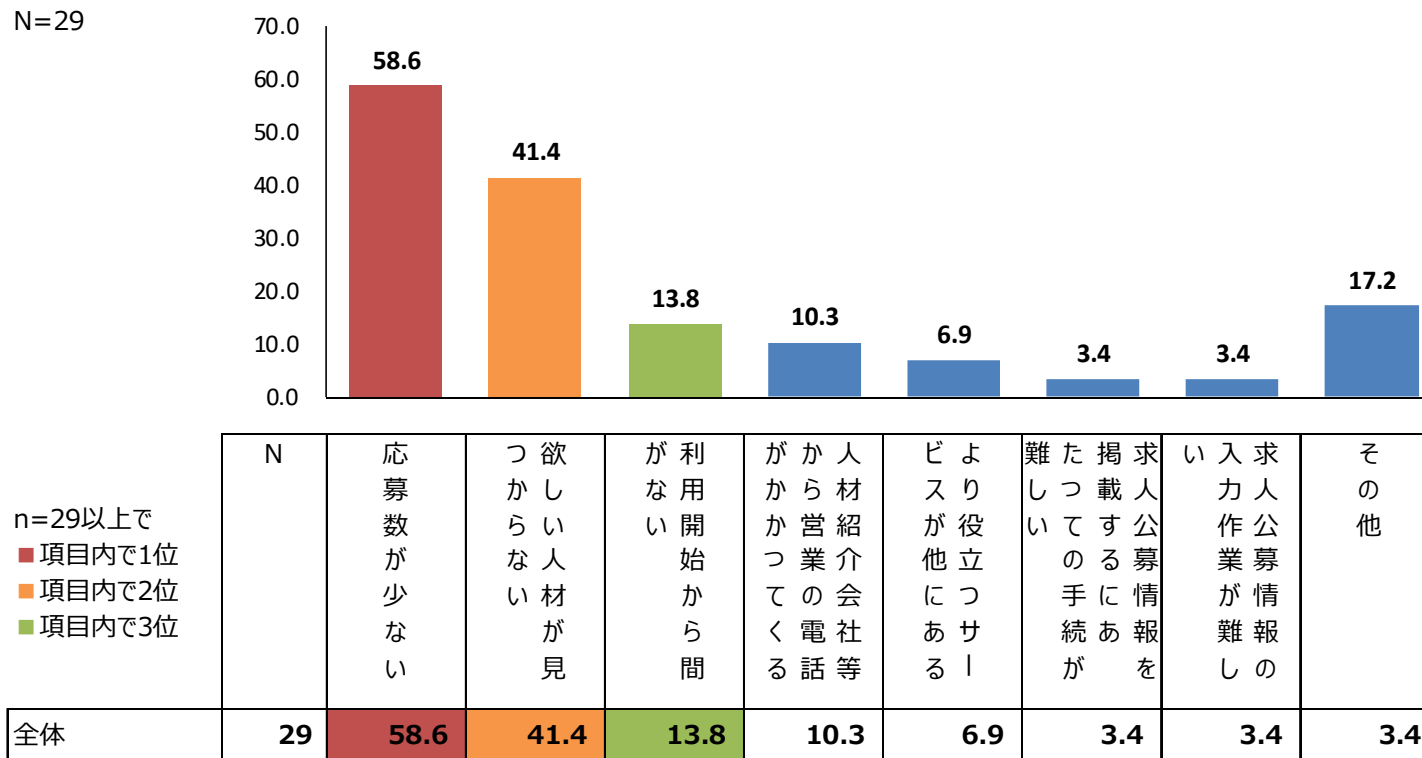
※単位：%

■ 役に立っていない(立ちそうにない)理由

問6. 役に立っていない(立ちそうにない)理由として当てはまるものをお選びください。(複数選択可)

- 役に立っていない(立ちそうにない)理由は、「応募数が少ない」という回答が58.6%で最も高く、次いで「欲しい人材が見つからない」の41.4%、「利用開始から間がない」の13.8%の順に続いている。

JREC-IN Portal「役立っていない・どちらかといえば役立っていない」回答者



N	応募数が少ない	欲しい人材が見つからない	利用開始から間がない	人材紹介会社との話等	より役立ちやすい	難しい	求人掲載の手続きが	求人情報が難しい	その他
29	58.6	41.4	13.8	10.3	6.9	3.4	3.4	3.4	

n=29以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

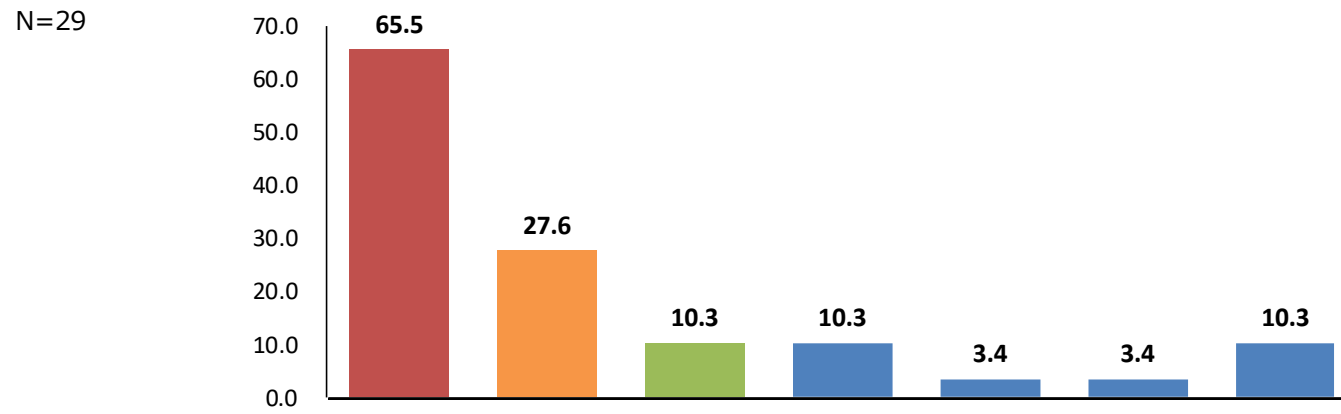
※単位：%

■十分な応募数、欲しい人材の確保に役立たないと考える理由

問7. 十分な応募数、欲しい人材の確保には役立っていないと考える理由は何ですか。（問6の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）（複数選択可）

- 十分な応募数、欲しい人材の確保には役立っていないと考える理由は、「応募者の確保が難しい分野・職種であるため」という回答が65.5%と最も高く、次いで「JREC-IN Portalのユーザーが対象層と合わなかったため」の27.6%、「JREC-IN Portalの機能・サービスを十分活用できていないため」の10.3%の順に続いている。

「応募数が少ない」「欲しい人材が見つからない」回答者



N	種 難 応 で し 募 あ い 者 る 分 の た 野 確 め ・ 保 職 が	か ザ P J つ ー o R た が r E た 対 t C め 象 a - 層 と の N 合 コ わ ー な	き サ P J て ー o R い ビ r E な ス t C い を a - た 十 I め 分 の N 活 機 用 能 で ・	り モ P J な ー o R い シ r E た ヨ t C め ン a - ・ I I P の N R プ が 口 足	十 一 P J 分 W o R な e r E た b t C め 応 a - 募 等 の I I 機 が 能 不	等 載 の P ） 書 公 o の 式 開 r 制 、 方 t 約 期 法 a の 間 ー た 掲 で	そ の 他	
全体	29	65.5	27.6	10.3	10.3	3.4	3.4	10.3

※全体値を降順に並び替え

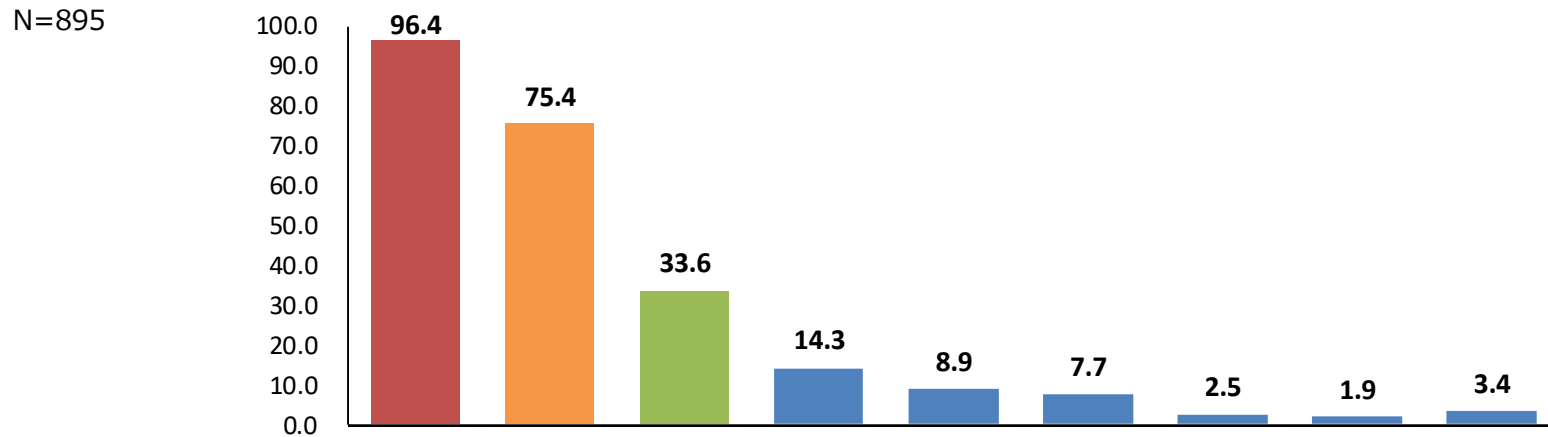
※単位：%

求人公募情報の掲載・提供先

問8. (任意) 求人公募情報の掲載・提供先をお選びください。(複数選択可)

- 求人公募情報の掲載・提供先は「JREC-IN Portal」という回答が96.4%と最も高く、次いで「自組織のWebサイト」の75.4%、「学協会（学会、Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）」の33.6%の順に続いている。

任意回答



N	JREC-IN Portal	自組織のWebサイト	学協会（学会、Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）	ハローワーク	国内の民間求職サイト	人材紹介会社	海外の求職サイト	ワーク研究センター	UIMIN（大学院情報ネットワーク）	その他
全体	895	96.4	75.4	33.6	14.3	8.9	7.7	2.5	1.9	3.4

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

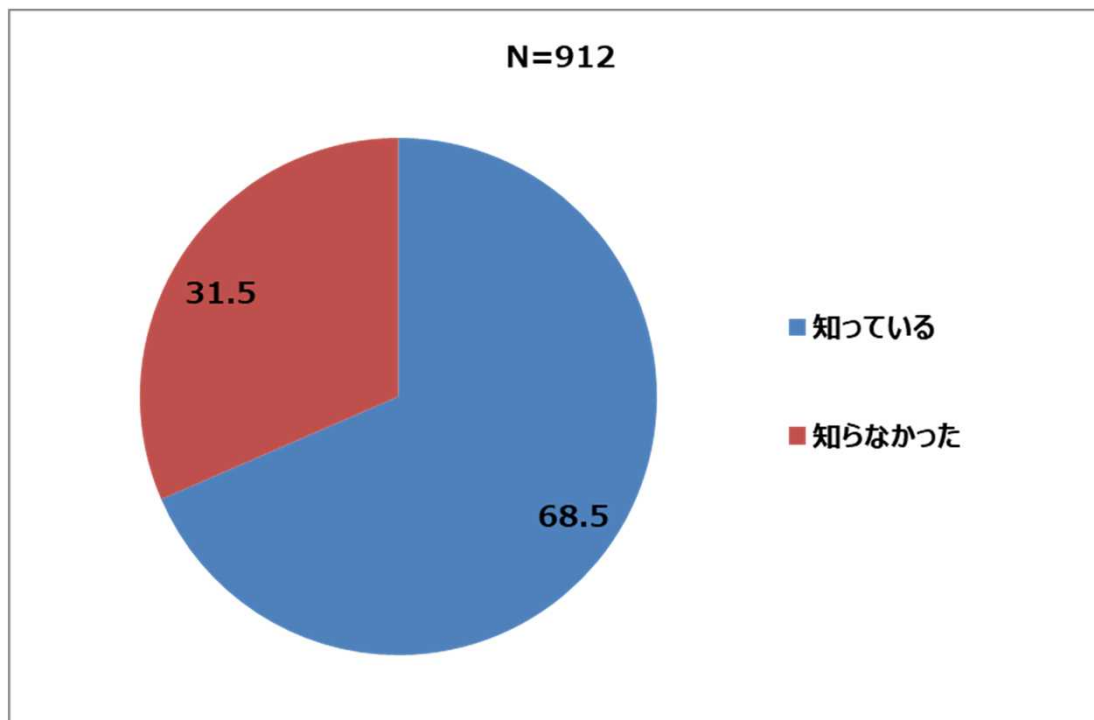
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問9. JREC-IN Portalには求職者がJREC-IN Portal上の求人公募情報から電子化した応募書類を求人機関へ提出することができる機能があります。求人機関は、Webでの応募内容の閲覧やステータス等の管理ができます。Web応募機能をご存じであったか、当てはまるものをお選びください。（1つ選択）

- Web応募機能の認知率は68.5%と、全体の半数以上が認知しているという結果となった。

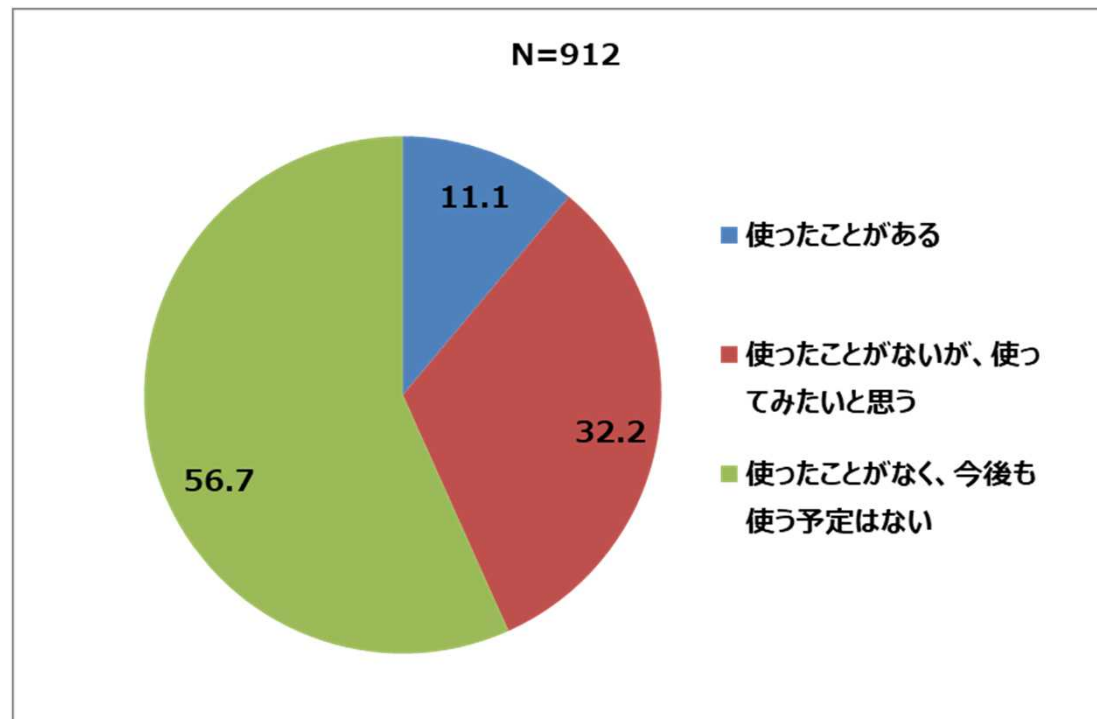
単位：%



問10. Web応募機能をご利用になって求人公募をされたことはありますか。(1つ選択)

- Web応募機能を利用した求人公募を「使ったことがある」という回答は全体の11.1%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が32.2%、一方「今後も使う予定がない」という回答が56.7%であった。

単位：%

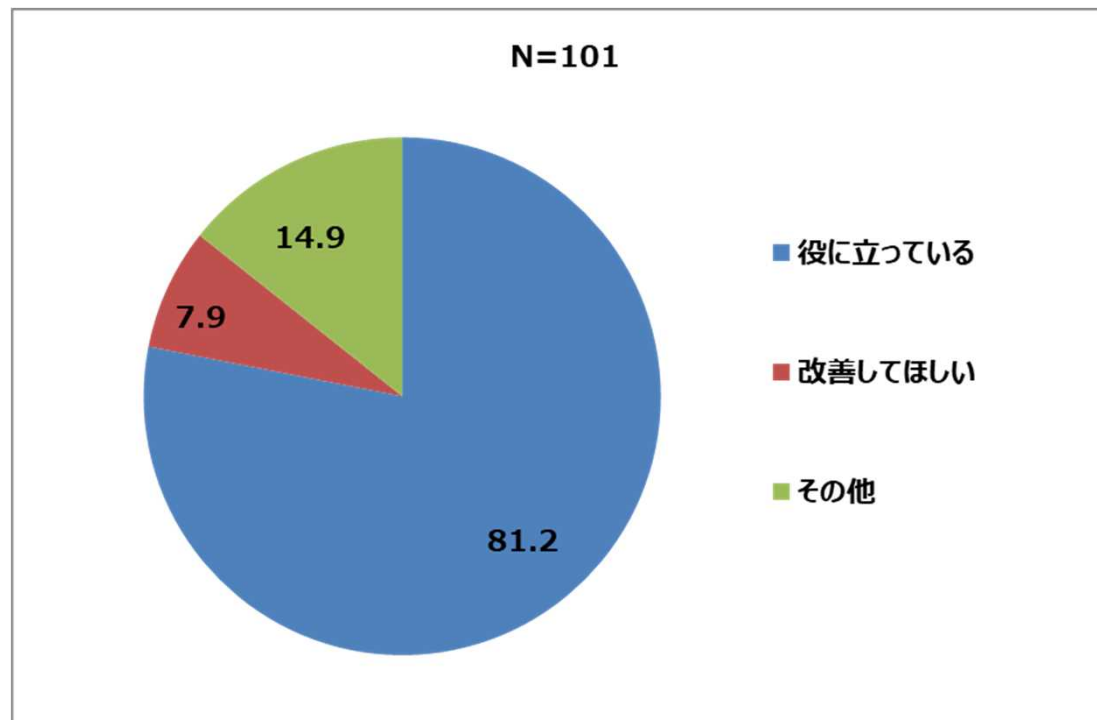


問11. Web応募機能をご利用になってのご感想をお選びください。(1つ選択)

- Web応募機能を利用した感想については、「役に立っている」という回答が81.2%と、全体の8割を占めた。
一方、「改善してほしい」という意見は7.9%となっている。

Web応募機能利用者

単位：%

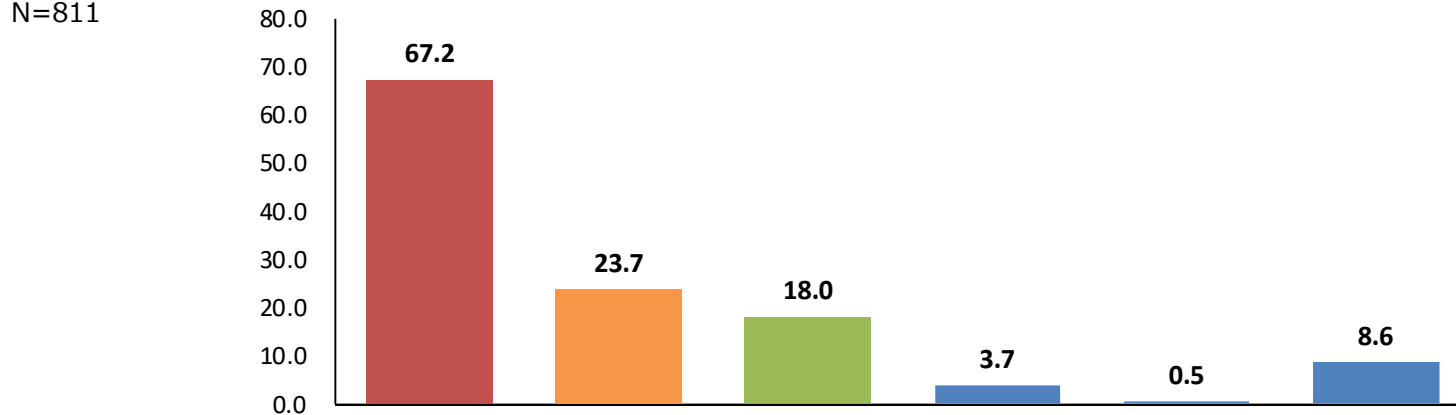


問12. Web応募機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。(複数選択可)

- Web応募機能を利用していない理由としては、「紙や電子媒体での提出物が必要だから」という回答が67.2%と最も高く、次いで「JREC-IN PortalのWeb応募を知らなかった」の23.7%、「自機関へのメール連絡で可能だから」の18.0%の順が続いている。

Web応募機能非利用者

N=811



N	だの紙	ら W P J	か ル 自	能 W 自	題 W P J	そ の 他	
	か 提 や ら 出 電 物 子 が 媒 必 体 要 だ	ら e o R か b r E つ 応 t C た 募 a - を I 知 の N	ら 連 機 絡 関 で へ 可 の 能 メ だ	だ e 機 か b 関 ら 申 サ 請 イ が ト 可 だ	が e o R あ b r E る 応 t C か 募 a - ら に I 問 の N		
全体	811	67.2	23.7	18.0	3.7	0.5	0.5

n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

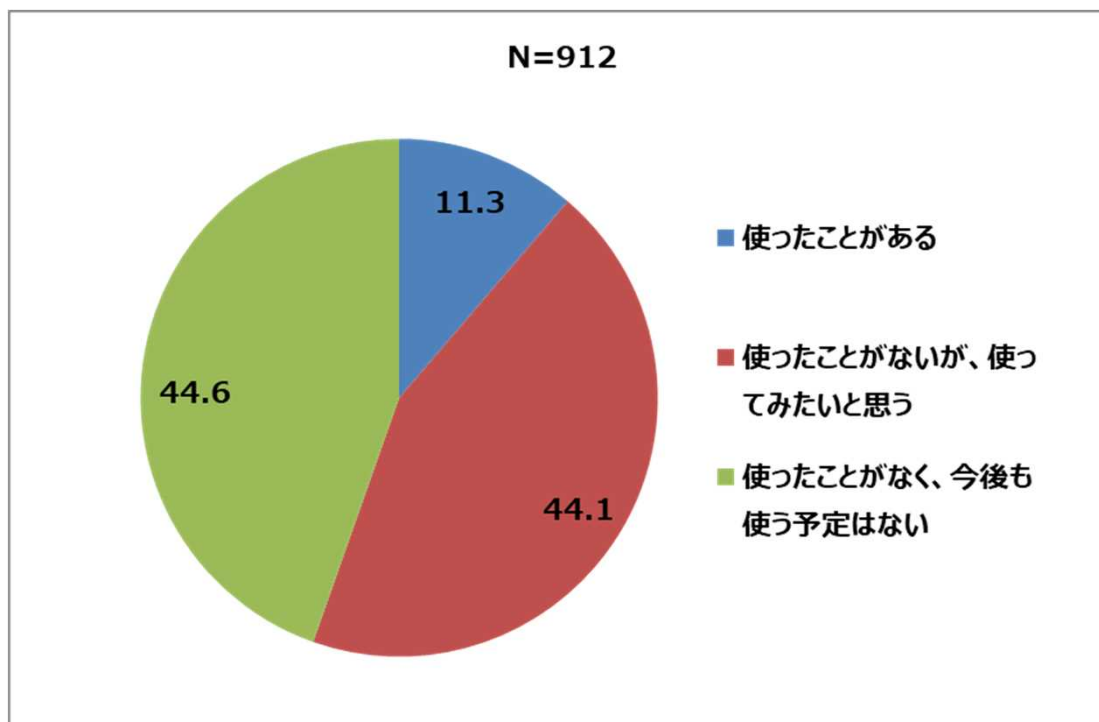
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問13. 求人機関の方は以下の機能をご利用いただけます。
 ・求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧 ・求職者照会メールの送信
 これらの機能を使ったことがありますか。（1つ選択）

- 「求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧機能」および「求職者照会メールの送信機能」を「使ったことがある」という回答は全体の11.3%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が44.1%、一方「今後も使う予定がない」という回答が44.6%であった。

単位：%

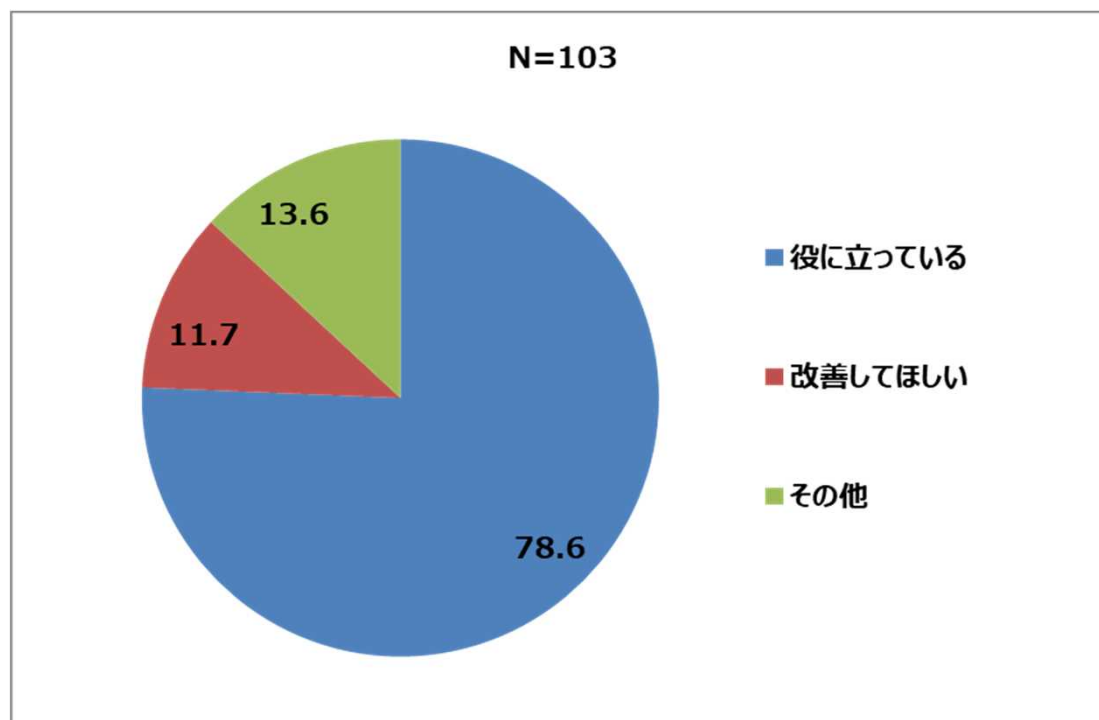


問14. 求職者照会機能をご利用になってのご感想をお選びください。（複数選択可）

- 「求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧機能」および「求職者照会メールの送信機能」を利用した感想については、「役に立っている」という回答が78.6%と、全体の約8割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は11.7%となっている。

求職者照会機能利用者

単位：%

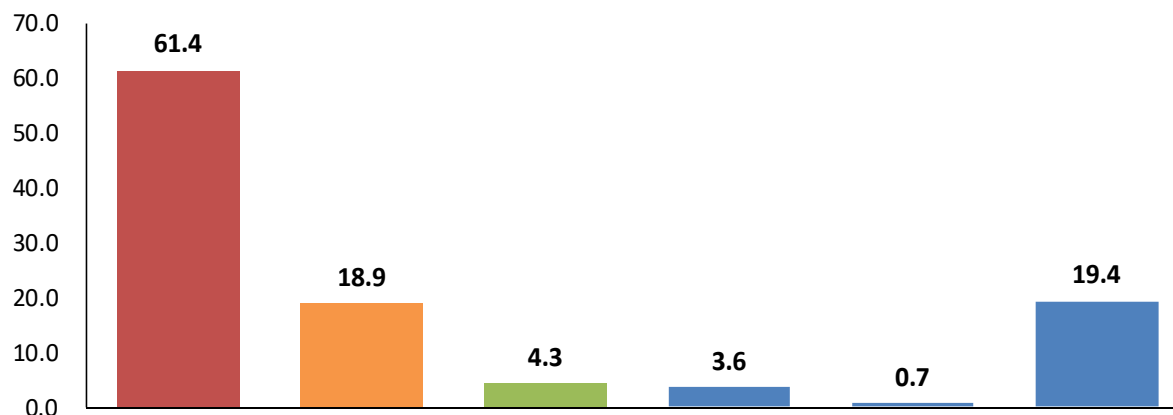


問15. 求職者照会機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。(複数選択可)

- 求職者照会機能を利用していない理由は、「JREC-IN Portalの求職者照会機能を知らなかった」という回答が61.4%と最も高く、次いで「研究者データベース等の公開情報で検索できるから」の18.9%、「JREC-IN Portal以外の求人サイトで検索できるから」の4.3%の順が続いている。

求職者照会機能非利用者

N=809



N	を求 P J 知職 o R ら者 r E な照 t C か会 a - つ機 l I た能 の N	る情ベ研 か報 l 究 らでス者 検等デ 索の l で公タ き開	らで外 P J 検の o R 索求 r E で人 t C きサ a - るイ l I かト以 N	細求 P J で職 o R は者 r E な情 t C い報 a - かが l I ら詳の N	か能求 P J らに職 o R 問者 r E が会 a - あの l I る機 の N	そ の 他	
全体	809	61.4	18.9	4.3	3.6	0.7	0.7

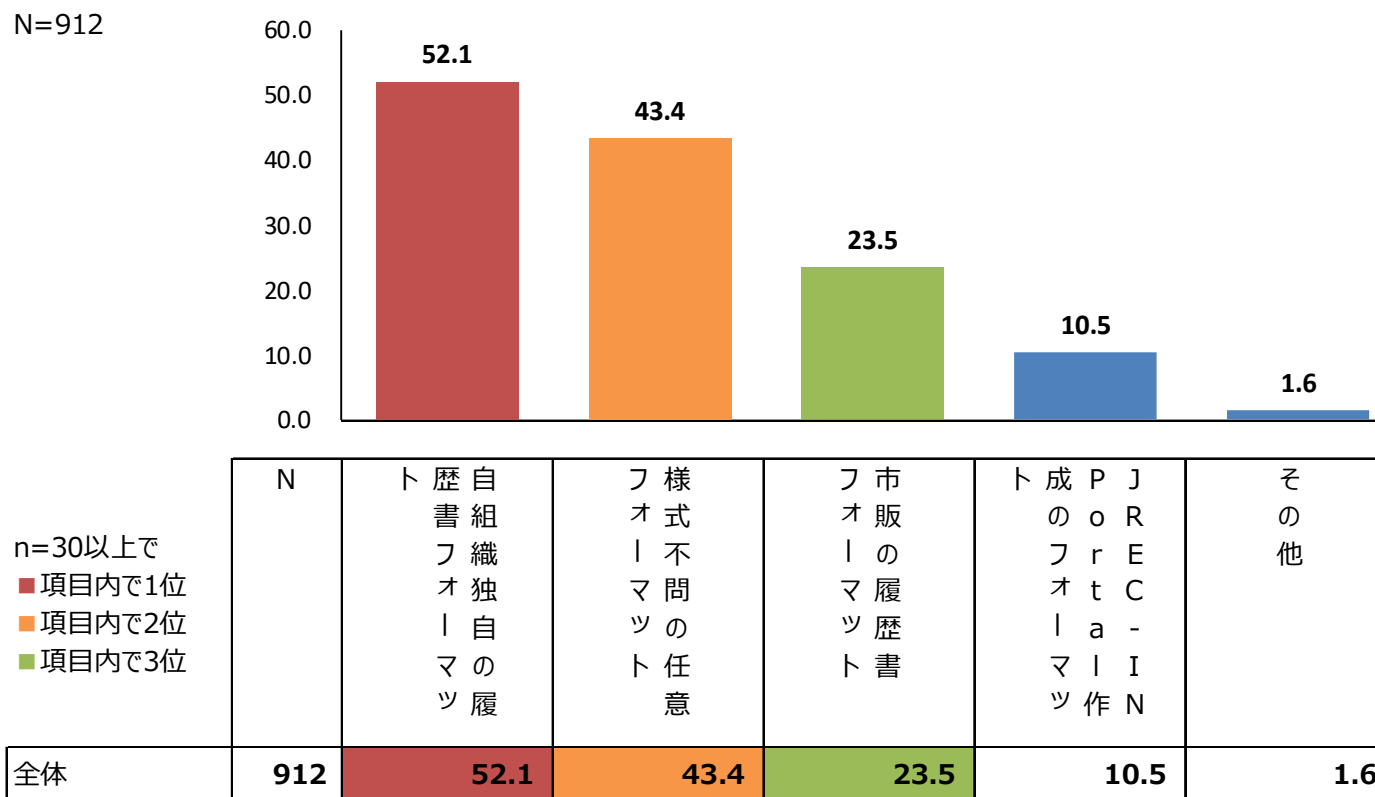
n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問16. 求人公募で受け付ける履歴書フォーマットを下記よりお選びください。(複数選択可)

- 求人公募で受け付けている履歴書フォーマットは、「自組織独自の履歴書フォーマット」が52.1%と最も高く、次いで「様式不問の任意フォーマット」の43.4%、「市販の履歴書フォーマット」の23.5%の順に続いている。「JREC-IN Portalフォーマット」は10.5%であった。



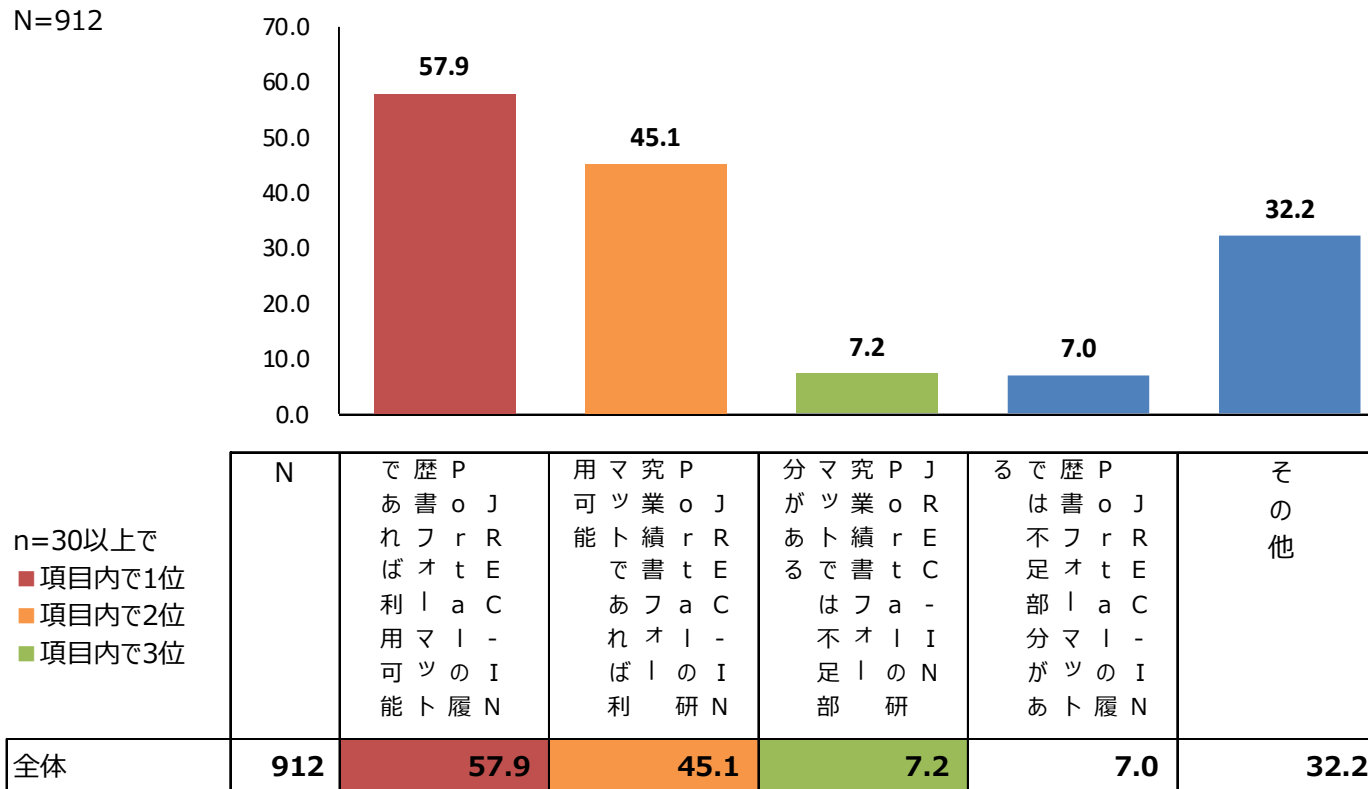
n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問13. 求職者の方々からは、応募書類作成の負担軽減のため、履歴書や研究業績書のフォーマット統一化の実現を強く求められています。現在、JREC-IN Portalでは、履歴書・研究業績書のフォーマット（※）を1種類ずつ用意していますが、書式統一化の実現へご協力いただくために必要なことをお聞かせください。（複数選択可）

- 書式統一化の実現について「JREC-IN Portalの履歴書フォーマットであれば利用可能」という回答が57.9%と最も高く、次いで「JREC-IN Portalの研究業績書フォーマットであれば利用可能」の45.1%と、約半数の人がJREC-IN Portalのフォーマットを利用可能と考えているという結果となった。



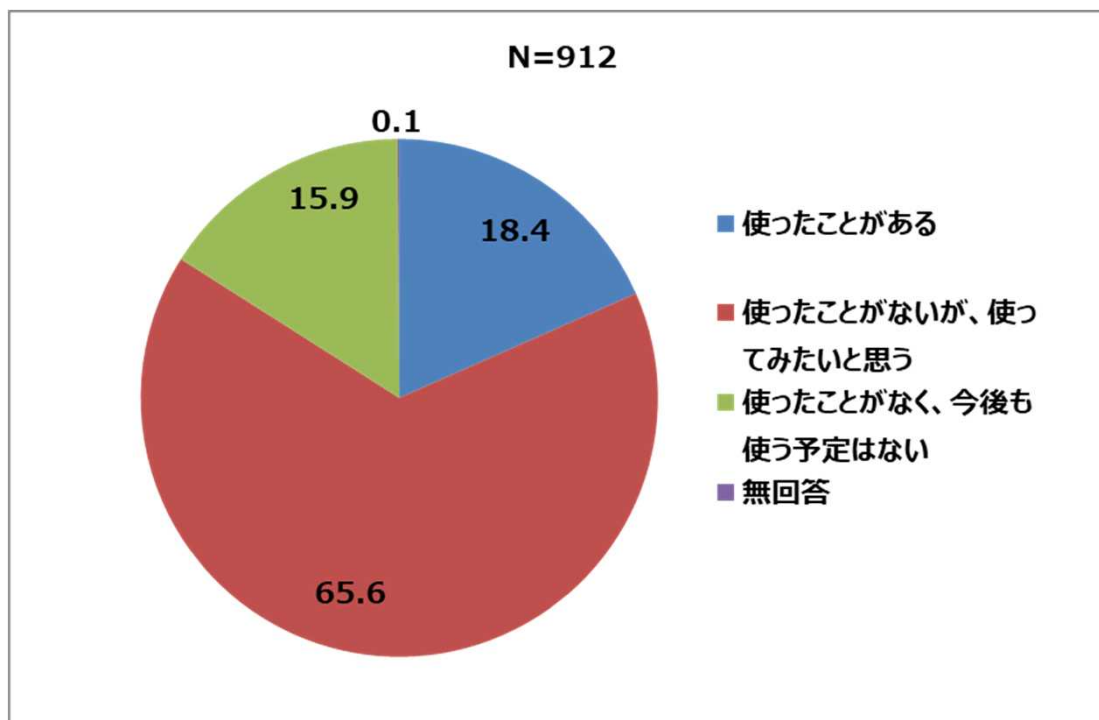
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問18. 平成30年4月から、登録した求人公募情報の閲覧回数を求人機関が確認できる機能を導入しました。この機能を使ったことはありますか？
機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

- 「求人公募情報の閲覧回数確認機能」を「使ったことがある」という回答は全体の18.4%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が65.6%、一方「今後も使う予定がない」という回答が15.9%であった。

単位：%

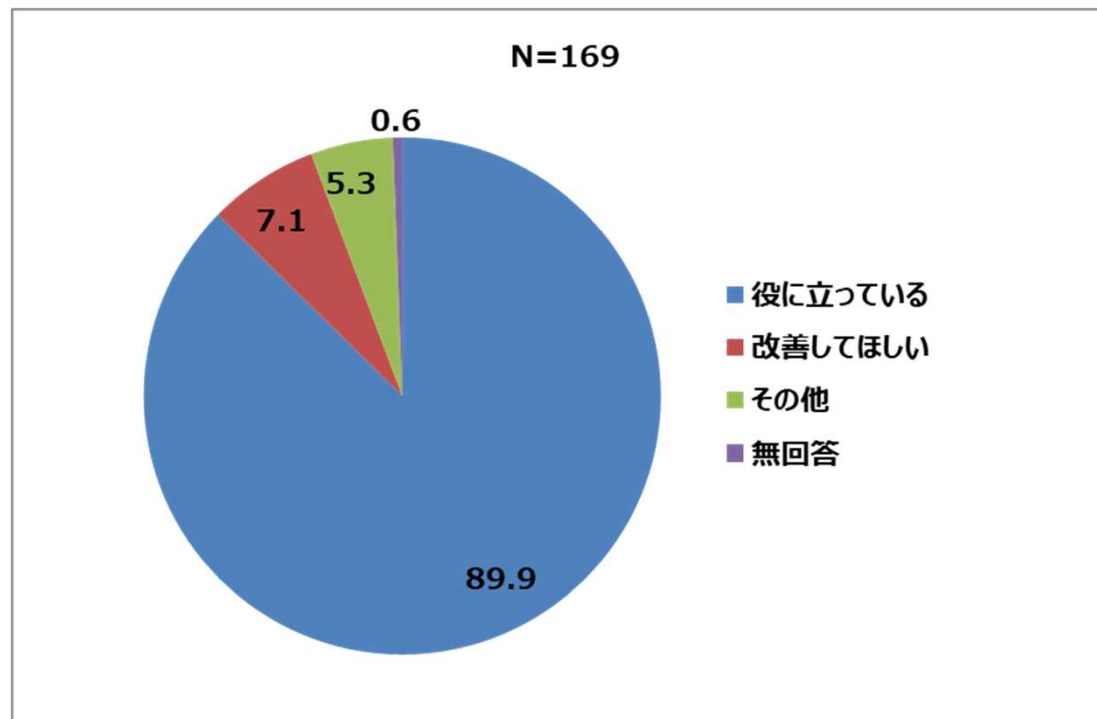


問19. 求人公募情報の閲覧回数を確認できる機能をご利用になってのご感想をお選びください。（複数選択可）

- 「求人公募情報の閲覧回数確認機能」を利用した感想については、「役に立っている」という回答が89.9%と、全体の約9割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は7.1%となっている。

求人公募情報の閲覧回数確認機能利用者

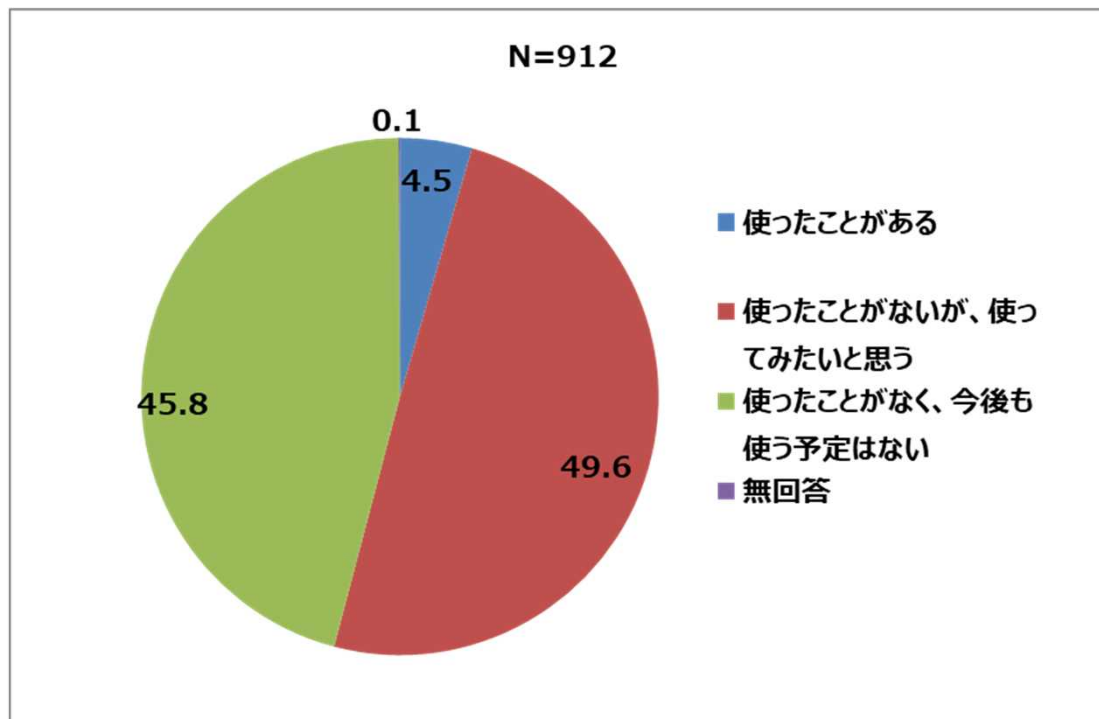
単位：%



問20. 平成30年4月から、Web応募機能の改善として、Web応募再提出時に自動メールが求人機関担当者へ送信されるようになりました。この機能を使ったことはありますか？ 機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

- 「Web応募再提出時の自動メール機能」を「使ったことがある」という回答は全体の4.5%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が49.6%、一方「今後も使う予定がない」という回答が45.8%であった。

単位：%

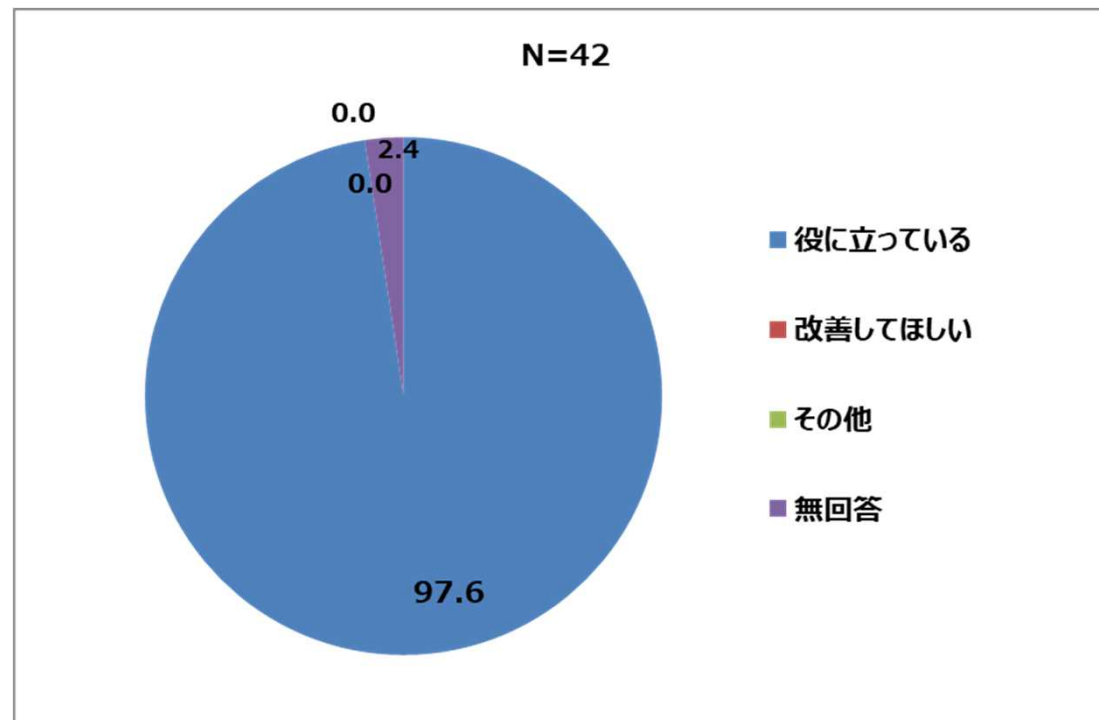


問21. Web応募再提出時に自動メール機能をご利用になってのご感想をお選び下さい。(複数選択可)

- 「Web応募再提出時の自動メール機能」を利用した感想については、「役に立っている」という回答が97.6%と、全体の約9割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は0.0%となっている。

自動メール機能利用者

単位：%



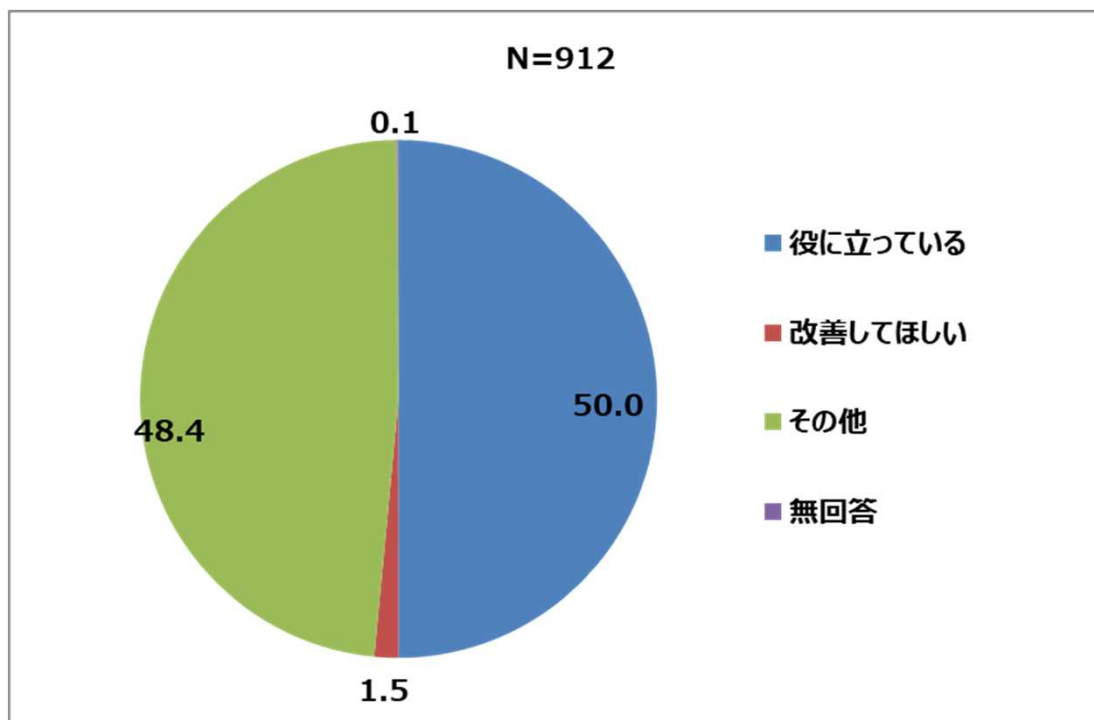
問22. JREC-IN Portalサイトでは、求人機関ご担当者向けに下記1,2のコンテンツを製作し、提供しています。こちらの1.もしくは2.の内容は、お役に立ちますか？（複数選択可）

1.求人・求職・雇用の場面で生じる種々な問題をわかりやすく取り上げたコンテンツ「なぜ、こんなことに！？—マンガで学ぶ求人・求職事例—」

2.Web応募機能の使い方などを動画等でわかりやすく説明した「JREC-IN Portal活用コンテンツ」

- 各コンテンツについて、「役に立っている」という回答が50.0%と、全体の5割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は1.5%となっている。

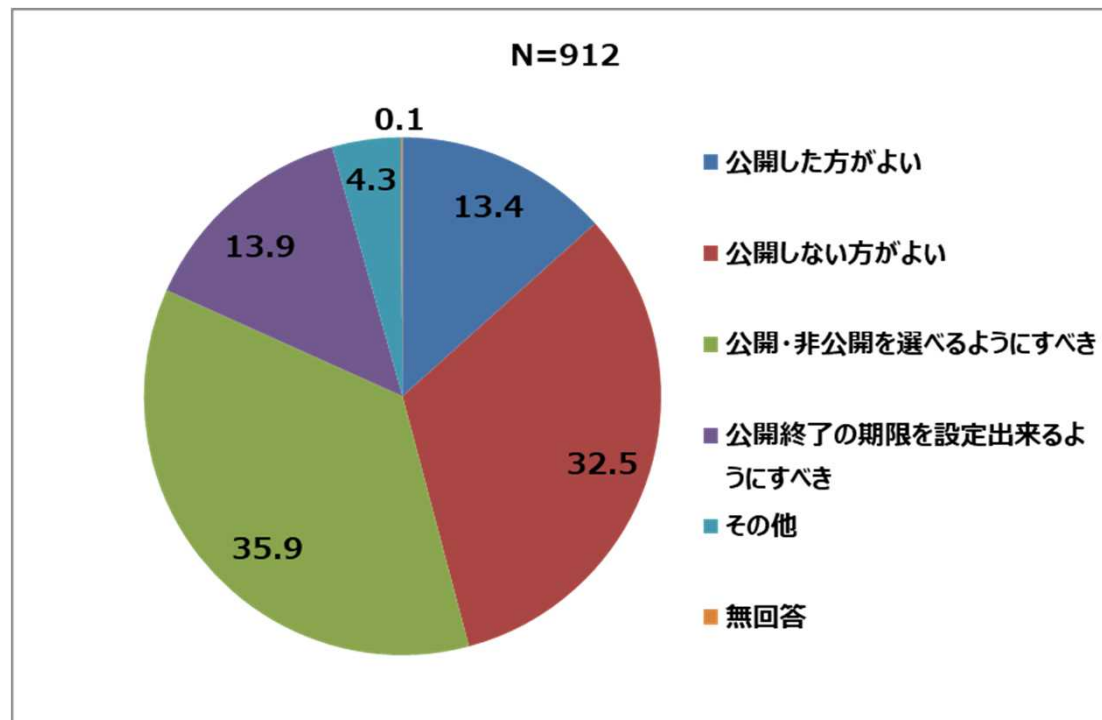
単位：%



問23. JREC-IN Portalサイトでは、募集期間が終了した公募は現在、一律で公開を終了しています。利用者の利便性を考慮し、終了後の公募も公開することについて、ご意見を頂けませんか。（1つ選択）

- 募集期間が終了した公募については、「公開・非公開を選べるようにすべき」という回答が、35.9%と最も高く、次いで「公開しない方がよい」が32.5%、「公開終了の期限を設定出来るようにすべき」が13.9%、「公開した方がよい」が13.4%という結果であった。

単位：%



問24. (任意) JREC-IN Portalについてご意見がございましたらご自由に記載ください。(複数選択可)

■ 回答別に、自由記述回答の一部を抜粋。 ※ランダムに掲載。それ以外の回答はFA集を参照。

【Web応募 N=16】-----

- こちらの指定するフォーマットでの応募が可能になるとよい
- 英語版を記入した際、海外へ公開するか否かを選べるとよい。
- Web応募利用の可能性を検討したいと思いますが、機関側でみれる様式の応募書類が見れるのかわからずヘルプに記載がありません。受付部門(事務)と審査部門(教員)は別ですので、複数アカウント管理が必要です。
- 導入や窓口としてはスピード感が発揮されて効果が高い。しかし実際には人物を見てみないと人事はわからない。

【求人公募の管理 N=6】-----

- 求職者動向がある程度把握できるので便利である。
- 照会の年齢表示を10歳単位ではなく、1~5歳単位に短くしてほしい
- 求職者へ送信するメールの(求職者からの)返信について、未読メールだけをソートできる機能を是非追加してください。未読メールを探し出すのに毎回大変苦労しています。

【公募入力項目について N=16】-----

- web応募やフォーマット統一を掲載の必須条件とすれば、利用機関は従わざるを得ないのではないだろうか。担当者としては、強制力がある方が内部の調整を行いやすい。
- 入力項目に文字数上限がある項目の上限を引き上げてほしい。英語ページで添付書類に全角文字のファイル名を受け付けるようにしてほしい。
- 未経験者も含めて広く技術補助員の公募をしたかったのですが、xxの経験があること、等の条件を付けるよう強制されたのは非常に残念でした。未経験者でも研究室内のトレーニングで十分戦力になるのに。
- 入力欄が大括りすぎて(例えば応募方法と連絡先が同じフィールドであるなど)、入力後に確認しづらいように思います。求職者の方も読みにくいのでは、と思いますので、もう少し細分化してはどうでしょうか。
- 日本語ページと英語ページの切替が見づらいです。また、情報入力時に掲載時のイメージを見れると助かります。

【JREC-IN Portalからの情報発信 N=5】-----

- 医歯薬枠では看護・臨床などの求人がいつまでも余っている。M3など、ふさわしい人材が登録しているサイトと連携(広告を出す?)すべき。
- もっと、新聞、専門誌、情報媒体で露出度を高めて欲しいです。多くの方からのアクセスがあるように。

【その他 N=118】-----

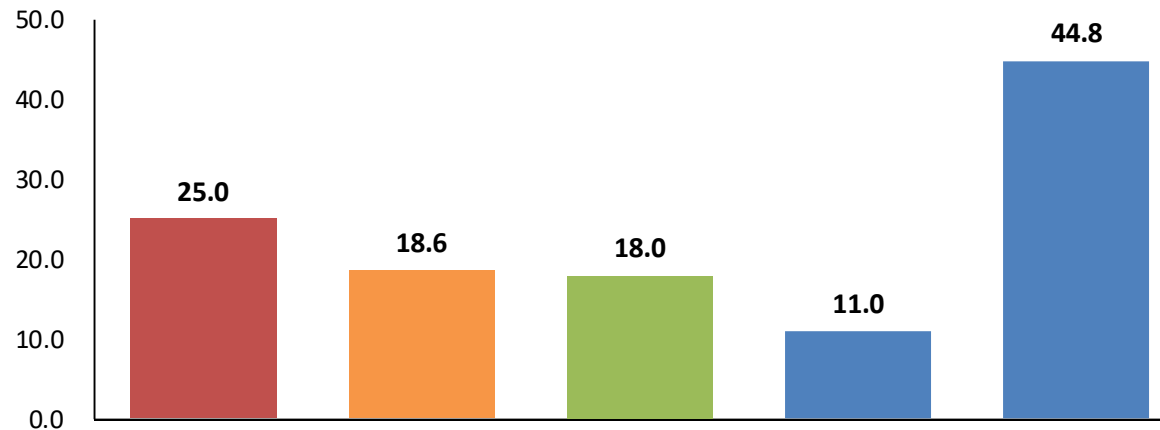
- 今回初めて使用したが、メールでアドバイスもあり比較的スムーズに処理することができた。
- 公募分野、機関の種類、常勤/非常勤、女性限定など統計をとって、これを利用する範囲にはなりますが、求人動向の統計をとってその経年変化をとってはどうか。
- 常勤希望でも非常勤で引き受ける意思があるかどうかの表示があるとありがたい。
- Indeed等、外部の人材募集サイトに情報提供していることをもっとアピールしたほうがよい。
- 現時点では小職が個人情報セキュリティに配慮した取扱いや会議で使用しようとするに紙にせざるを得ません。これらのことの機関側の利用方法ガイドの充実を望みます
- 応募者の本気度合いがわかると嬉しい。とりあえず登録したけど、いいのがあれば転職しようかなという人であればこちらから応募促すメールをしないので。
- 博士人材を採用するために大変重宝しております。今後も利用させていただきたいと思います。
- JREC-INのおかげで全く面識のない多数の応募者の中からふさわしい人材を選んで感謝している。推薦書やコネといわれるものも、少数の人から見ての評価になるので必ずしも適職者には限らないので。
- 履歴書の書式を統一することは応募者の負担軽減のために望ましいと思う。
- 応募条件を修正した際、修正内容を備考欄へ入力するよう指摘がありましたが応募者に開示する必要があるのかと感じました。運営側での把握が必要であれば記入以外の方法(メール等)をご検討いただければ幸いです
- 過去に不採用となった者であることに気付かず(氏名等が非公開のため)、再度コンタクトをとってしまうことがあるので、求職者と公募機関との過去のやりとりが閲覧できると大変ありがたいです

問25. (任意) 今後JREC-IN Portalで開催してほしいイベントはありますか。(複数選択可)

- 今後開催してほしいイベントは、「求人機関向け機能の説明会」が25.0%と最も高く、次いで「求人機関の事例紹介」の18.6%、「求職者との交流会」の18.0%の順に続いている。

任意回答

N=172



	N	求人機関向け機能の説明会	求人機関の事例紹介	求職者との交流会	キャリア支援機との交流会	その他
全体	172	25.0	18.6	18.0	11.0	44.8

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

※単位：%



質問票

問1. 貴機関の種別をお選びください。（1つ選択）

1. 国立大学
2. 公立大学
3. 私立大学
4. 短期大学
5. 高等専門学校
6. 専門学校(専修学校専門課程)
7. その他教育機関（小中高等学校、大学校）
8. 大学共同利用機関法人・独立行政法人・国立研究機関・省庁等
9. 公設試験研究機関・地方自治体等
10. 特殊法人・認可法人
11. 公益法人
12. 民間企業
13. 海外研究機関（大学・公的研究機関）
14. 国際機関
15. その他（自由記述）

問2. ご自身の所属部署として最も該当すると思われるものを以下より1つ選択してください。（1つ選択）

1. 採用者の配属部署
2. 総務・人事担当部署
3. その他（自由記述）

問3. ご自身が応募者の募集・選考・採用にどのように関わっているか、該当すると思われる項目を以下よりお選びください。（複数選択可）

1. 求人公募情報のJREC-IN Portalへの入力等掲載手続きを行っている
2. 自部署の求人公募情報を一元管理をしている
3. 他部署を含めて求人公募情報を一元管理をしている
4. 求人内容（業務内容・必要とする資格等）を決定する
5. 応募者の採用審査を行っている
6. 採用者を決定する
7. その他（自由記述）

問4. JREC-IN Portalは求人活動に役立っていますか。または、役に立ちそうですか。（1つ選択）

1. 役立っている
2. どちらかといえば役立っている
3. どちらかといえば役立っていない
4. まったく役立っていない

問5. 役に立っている（立ちそうな）理由として当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

1. 無料で利用できる
2. 応募数が多い
3. 欲しい人材を採用できる
4. 求人公募情報を掲載するにあたっての手続きが簡単
5. 求人公募情報の入力作業が簡単
6. JSTが運営しているので安心できる
7. 他に類似のサービスがない
8. その他（自由記述）

問6. 役に立っていない（立ちそうにない）理由として当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

1. 応募数が少ない
2. 欲しい人材が見つからない
3. 人材紹介会社等から営業の電話がかかってくる
4. 求人公募情報を掲載するにあたっての手続きが難しい
5. 求人公募情報の入力作業が難しい
6. より役立つサービスが他にある（自由記述）
7. 利用開始から間がない
8. その他（自由記述）

問7. 十分な応募数、欲しい人材の確保には役立っていないと考える理由は何ですか。（問6の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）（複数選択可）

1. 応募者の確保が難しい分野・職種であるため
2. JREC-IN Portalのユーザーが対象層と合わなかったため
3. JREC-IN Portalの機能（Web応募等）が不十分なため
4. JREC-IN Portalでの公開方法（掲載書式、期間等）の制約のため
5. JREC-IN Portalの機能・サービスを十分活用できていないため
6. JREC-IN Portalのプロモーション・PRが足りないため
7. その他（自由記述）

問8. 求人公募情報の掲載・提供先をお選びください。（複数選択可）

1. JREC-IN Portal
2. 自組織のWebサイト
3. 学協会（学会Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）
4. UMIN（大学病院医療情報ネットワーク研究センター）
5. 国内の民間求職サイト
6. 海外の求職サイト
7. 人材紹介会社
8. ハローワーク
9. その他（自由記述）

問9. JREC-IN Portalには求職者がJREC-IN Portal上の求人公募情報から電子化した応募書類を求人機関へ提出することができる機能があります。求人機関は、Webでの応募内容の閲覧やステータス等の管理ができます。Web応募機能をご存じであったか、当てはまるものをお選びください。（1つ選択）

1. 知っている
2. 知らなかった

問10. Web応募機能をご利用になって求人公募をされたことはありますか。Web応募機能を使ったことがなく、今後も使う予定がないを選んだ方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない

問11. Web応募機能をご利用になってのご感想をお選びください。また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。（1つ選択）

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問12. Web応募機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。（複数選択可）

1. JREC-IN PortalのWeb応募を知らなかった
2. 自機関サイトでWeb申請が可能だから
3. 自機関へのメール連絡が可能だから
4. 紙や電子媒体での提出物が必要だから
5. JREC-IN PortalのWeb応募に問題があるから
6. その他（自由記述）

問13. 求人機関の方は以下の機能をご利用いただけます。

- ・求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧
- ・求職者照会メールの送信

これらの機能を使ったことがありますか。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない

問14. 求職者照会機能をご利用になってのご感想をお選びください。また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。（1つ選択）

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問15. 求職者照会機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。（複数選択可）

1. JREC-IN Portalの求職者照会機能を知らなかった
2. JREC-IN Portal以外の求人サイトで検索できるから
3. 研究者データベース等の公開情報で検索できるから
4. JREC-IN Portalの求職者情報が詳細ではないから
5. JREC-IN Portalの求職者照会の機能に問題があるから
6. その他（自由記述）

問16. 求人公募で受け付ける履歴書フォーマットを下記よりお選びください。（複数選択可）

1. 自組織独自の履歴書フォーマット
2. JREC-IN Portal作成のフォーマット
3. 市販の履歴書フォーマット
4. 様式不問の任意フォーマット
5. その他（自由記述）

問17. 求職者の方々からは、応募書類作成の負担軽減のため、履歴書や研究業績書のフォーマット統一化の実現を強く求められています。

現在、JREC-IN Portalでは、履歴書・研究業績書のフォーマット（※）を1種類ずつ用意していますが、書式統一化の実現へご協力いただくために必要なことをお聞かせください。3,4,5を選んだ方は、追加希望項目や理由を具体的にお知らせください。（複数選択可）

1. JREC-IN Portalの履歴書フォーマットであれば利用可能
2. JREC-IN Portalの研究業績書フォーマットであれば利用可能
3. JREC-IN Portalの履歴書フォーマットでは不足部分がある
4. JREC-IN Portalの研究業績書フォーマットでは不足部分がある
5. その他（自由記述）

問18. 平成30年4月から、登録した求人公募情報の閲覧回数を求人機関が確認できる機能を導入しました。この機能を使ったことはありますか？

機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う（自由記述）
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない（自由記述）

問19. 求人公募情報の閲覧回数を確認できる機能をご利用になってのご感想をお選びください。（複数選択可）また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問20. 平成30年4月から、Web応募機能の改善として、Web応募再提出時に自動メールが求人機関担当者へ送信されるようになりました。この機能を使ったことはありますか？機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う（自由記述）
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない（自由記述）

問21. Web応募再提出時に自動メール機能をご利用になってのご感想をお選び下さい。（複数選択可）また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問22. JREC-IN Portalサイトでは、求人機関ご担当者向けに下記1,2のコンテンツを製作し、提供しています。

1. 求人・求職・雇用の場面で生じる種々な問題をわかりやすく取り上げたコンテンツ「なぜ、こんなことに！？—マンガで学ぶ求人・求職事例—」
2. Web応募機能の使い方などを動画等でわかりやすく説明した「JREC-IN Portal活用コンテンツ」

こちらの1.もしくは2.の内容は、お役に立ちますか？（複数選択可）

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問23. JREC-IN Portalサイトでは、募集期間が終了した公募は現在、一律で公開を終了しています。利用者の利便性を考慮し、終了後の公募も公開することについて、ご意見を頂けますでしょうか。（1つ選択）

1. 公開した方がよい（自由記述）
2. 公開しない方がよい（自由記述）
3. 公開・非公開を選べるようにすべき（自由記述）
4. 公開終了の期限を設定出来るようにすべき（自由記述）
5. その他（自由記述）

問24. JREC-IN Portalについてご意見がございましたらご自由に記載ください。（複数選択可）

1. Web応募（自由記述）
2. 求人公募の管理（自由記述）
3. 求職者照会（自由記述）
4. 公募入力項目について（自由記述）
5. JREC-IN Portalからの情報発信（自由記述）
6. その他（自由記述）

問25. 今後JREC-IN Portalで開催してほしいイベントはありますか。（複数選択可）また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。

1. 求人機関向け機能の説明会（自由記述）
2. 求人機関の事例紹介（自由記述）
3. 求職者との交流会（自由記述）
4. キャリア支援機関との交流会（自由記述）
5. その他（自由記述）

問26.年齢をお選びください。(1つ選択)

1. 10代
2. 20代
3. 30～34歳
4. 35～39歳
5. 40～44歳
6. 45～49歳
7. 50代
8. 60代
9. 70代以上

問27.現在お住まいの地域をお選びください。(1つ選択)

1. 日本
2. 日本以外(自由記述)

問28.現在の所属をお選びください。※複数ある場合は主たるもの(1つ選択)

1. 大学・短大
2. 公的研究機関
3. その他公的機関(官公庁、公益法人等)
4. 大学・短大以外の教育機関
5. 企業
6. 病院等医療機関
7. 所属なし(個人)
8. その他

問29.現在の職種をお選びください。複数ある場合は主たるもの(1つ選択)

1. 機関の長相当(学長、研究所長等)
2. 教授相当(大学・高専等の教授、研究機関の部・室・グループ長等)
3. 准教授・常勤専任講師相当(大学・高専等の准教授、常勤専任講師、研究機関の主任研究員等)
4. 助教相当(大学・高専等の助教等)
5. 研究員・ポスドク相当(研究機関の研究員、リサーチフェロー等)
6. 非常勤講師相当(大学・高専等の非常勤講師等)
7. 研究・教育補助者相当(助手、テクニカルスタッフ、テクニシャン、技術員、研究補助員、実験補助員、実習指導員等)
8. 研究管理者相当(リサーチアドミニストレータ、コーディネータ、プログラムオフィサー等)
9. 研究開発・技術者相当(研究開発者、技術者、エンジニア等)
10. 専門学校・小中高等の教員相当(専門学校の教員、小中高等学校の教員等)
11. コミュニケーター相当(広報、サイエンスコミュニケーター、科学技術スペシャリスト、科学技術ジャーナリスト等)

12. 学生(博士)
13. 学生(修士・学部)
14. 企画
15. 設計・開発
16. 製造
17. 営業・販売
18. 調査・コンサルティング
19. 一般事務
20. 医師
21. 看護師
22. なし
23. その他

問30.現在の雇用の任期をお選びください。(残りではなく着任から数えた全体の期間。形式上は毎年度の更新制であっても実質的に保証されていると思われる場合はその期間)(1つ選択)

1. 1年以下
2. 1年を超えて2年以下
3. 2年を超えて3年以下
4. 3年を超えて4年以下
5. 4年を超えて5年以下
6. 5年を超える(有期)
7. 無期
8. 求職中
9. その他

問31.あなたの専門に最も近い分野をひとつお選びください。(1つ選択)

1. 人文学
2. 社会科学
3. 数物系科学
4. 化学
5. 工学
6. 生物学
7. 農学
8. 医歯薬学
9. 芸術
10. 総合領域
11. 複合新領域
12. 上記のどれにも当てはまらない

平成30年度 JREC-IN Portal 利用者の満足度調査 (登録求人機関向け)

2019年2月21日(木)

■ 目次	2頁
■ 調査概要	3頁
■ 回答者プロフィール 1	4頁
■ 回答者プロフィール 2	5頁

【詳細編】

■ 応募者の募集・選考・採用への関与	7頁
■ JREC-IN Portal 求人活動への役立ち度	8頁
■ 役に立っている（立ちそうな）理由	9頁
■ 役に立っていない（立ちそうにない）理由	10頁
■ 十分な応募数、欲しい人材の確保に役立たないと考える理由	11頁
■ 求人公募情報の掲載・提供先	12頁
■ Web応募機能 認知度	13頁
■ Web応募機能 利用経験・意向	14頁
■ Web応募機能 利用した感想	15頁
■ Web応募機能 非利用理由	16頁
■ 「求職者のアピール情報の検索・閲覧」「求職者照会メールの送信」機能の利用経験	17頁
■ 「求職者のアピール情報の検索・閲覧」「求職者照会メールの送信」機能を利用した感想	18頁
■ 「求職者のアピール情報の検索・閲覧」「求職者照会メールの送信」機能 非利用理由	19頁
■ 求人公募で受け付けている履歴書フォーマット	20頁
■ 書式統一化の実現性	21頁
■ 求人公募情報の閲覧回数確認機能 利用経験	22頁
■ 求人公募情報の閲覧回数確認機能 利用した感想	23頁
■ Web応募改善機能 利用経験	24頁
■ Web応募改善機能 利用した感想	25頁
■ 各コンテンツ役立ち度	26頁
■ 募集期間終了後の公募公開について	27頁
■ JREC-IN Portalに対する意見（抜粋）	28頁
■ 今後開催してほしいイベント	29頁

【質問票】

■ 質問票1	31頁
■ 質問票2	32頁
■ 質問票3	33頁
■ 質問票4	34頁

調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供するJREC-IN Portalについて、利用者層や利用状況、満足度等の調査を実施し、結果を事業企画や評価、広報宣伝活動に活用する。

対象者条件

JREC-IN Portal登録求人機関

サンプル数

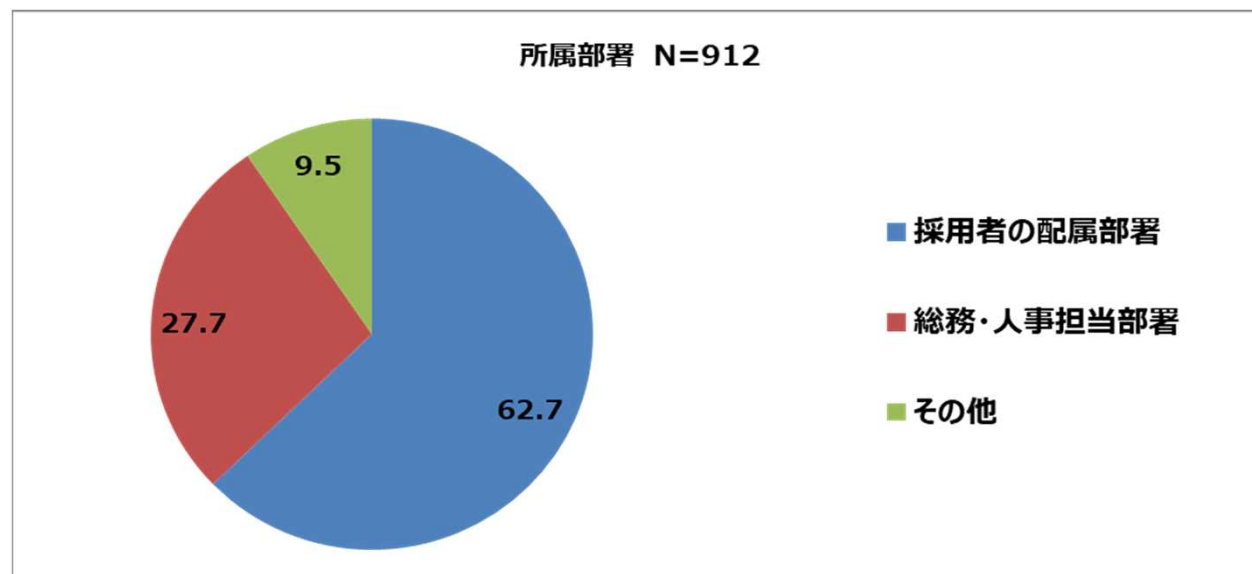
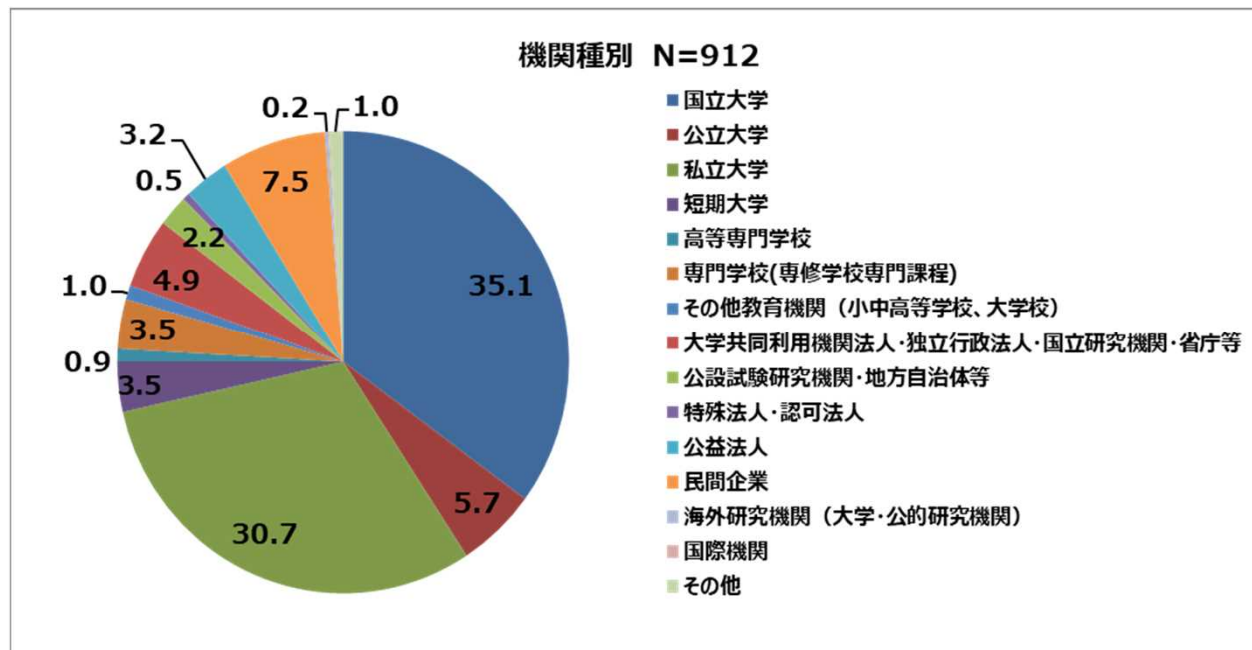
912人

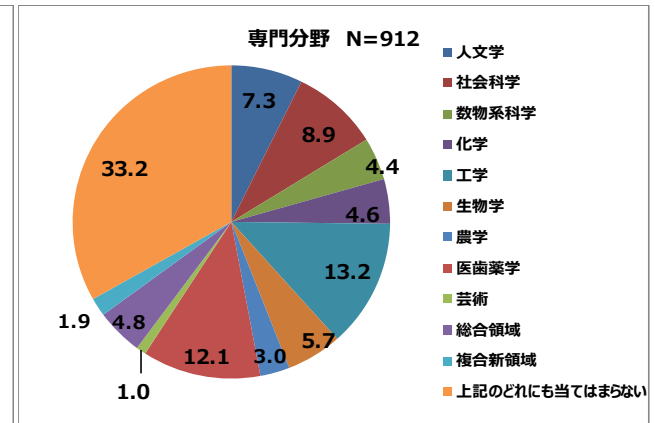
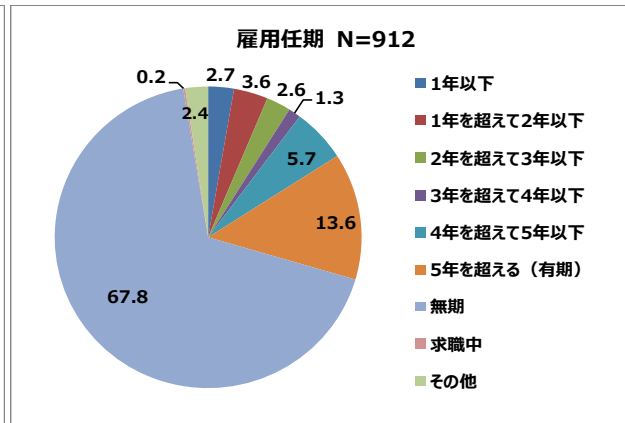
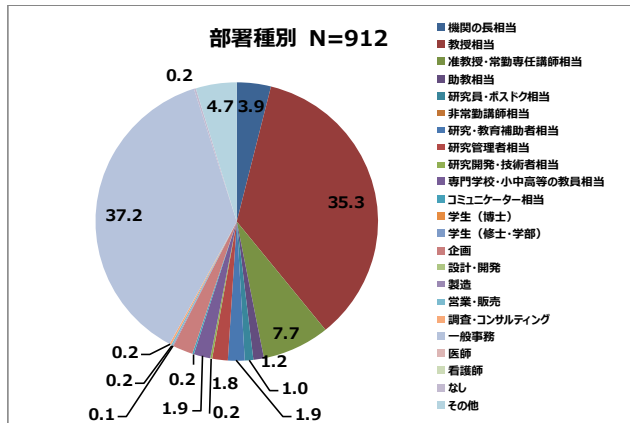
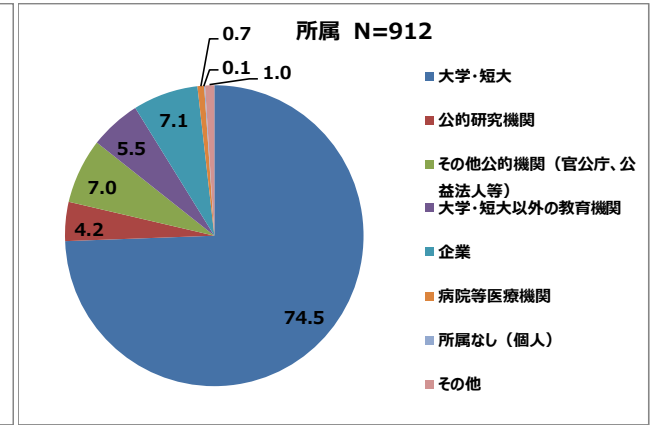
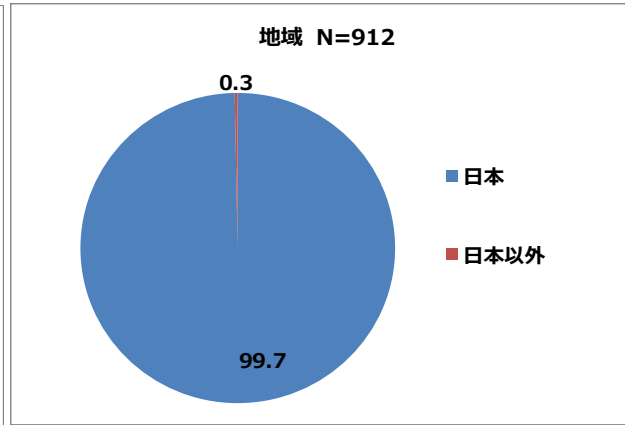
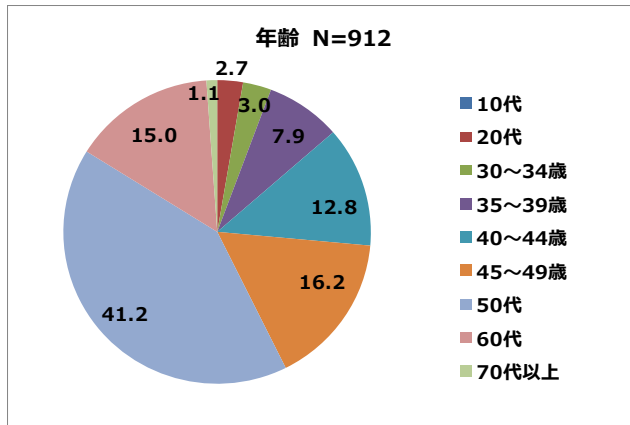
調査手法

インターネット調査

調査期間

2019年1月10日（木）～2月8日（金）







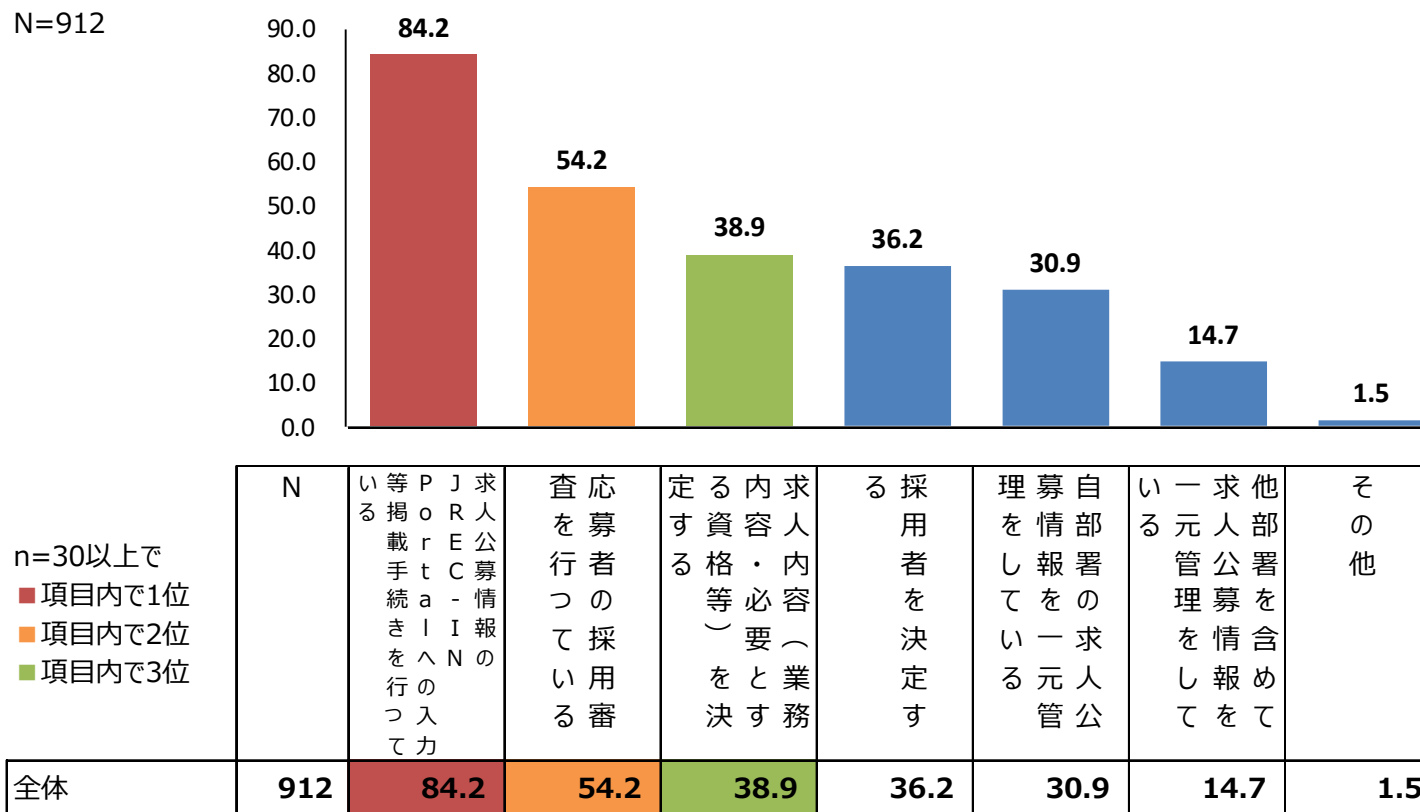
詳細編

<設問種別>

SA..... 単一回答
MA..... 複数回答
NA..... 数値回答
FA..... 自由回答

問3. ご自身が応募者の募集・選考・採用にどのように関わっているか、該当と思われる項目を以下よりお選びください。（複数選択可）

- 応募者の募集・選考・採用への関与は、「求人公募情報のJREC-IN Portalへの入力等掲載手続きを行っている」という回答が84.2%で最も高く、次いで「応募者の採用審査を行っている」の54.2%、「求人内容（業務内容・必要とする資格等）を決定する」の38.9%の順に続いている。



※全体値を降順に並び替え

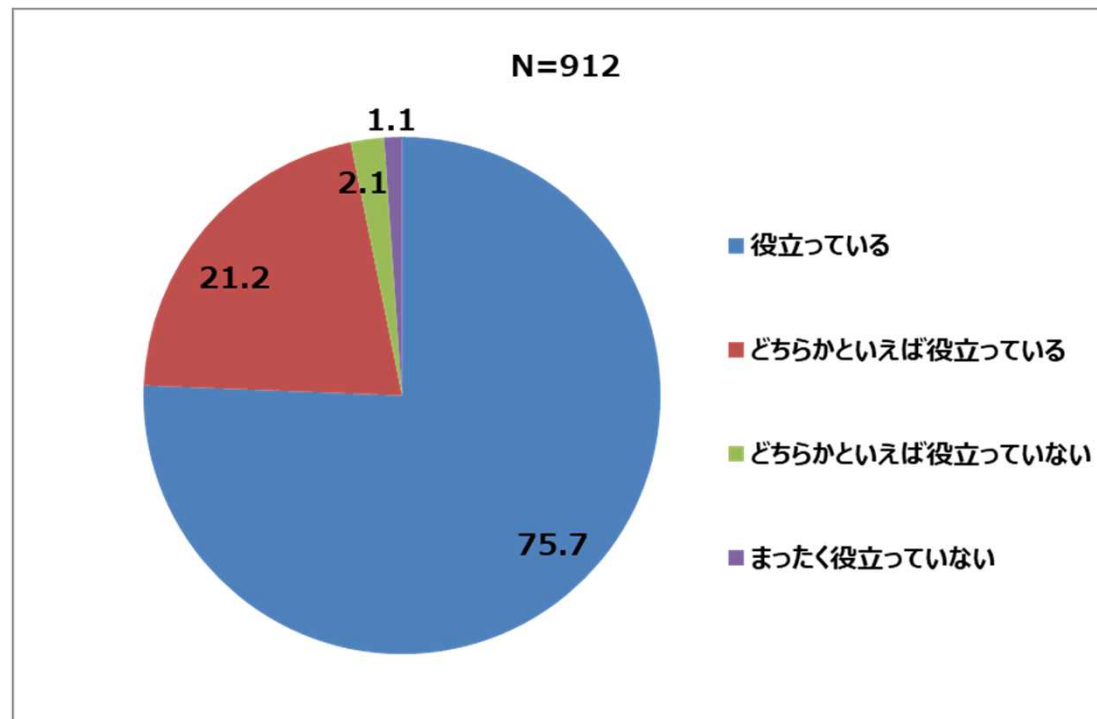
※単位：%

問4. JREC-IN Portalは求人活動に役立っていますか。または、役に立ちそうですか。（1つ選択）

- JREC-IN Portalの求人活動への役立ち度は、「役立っている」という回答が75.7%であった。役に立っているというポジティブな回答は96.9%を占め、大多数が満足しているということが伺える。

役に立っている 計	96.9
役に立っていない 計	3.2

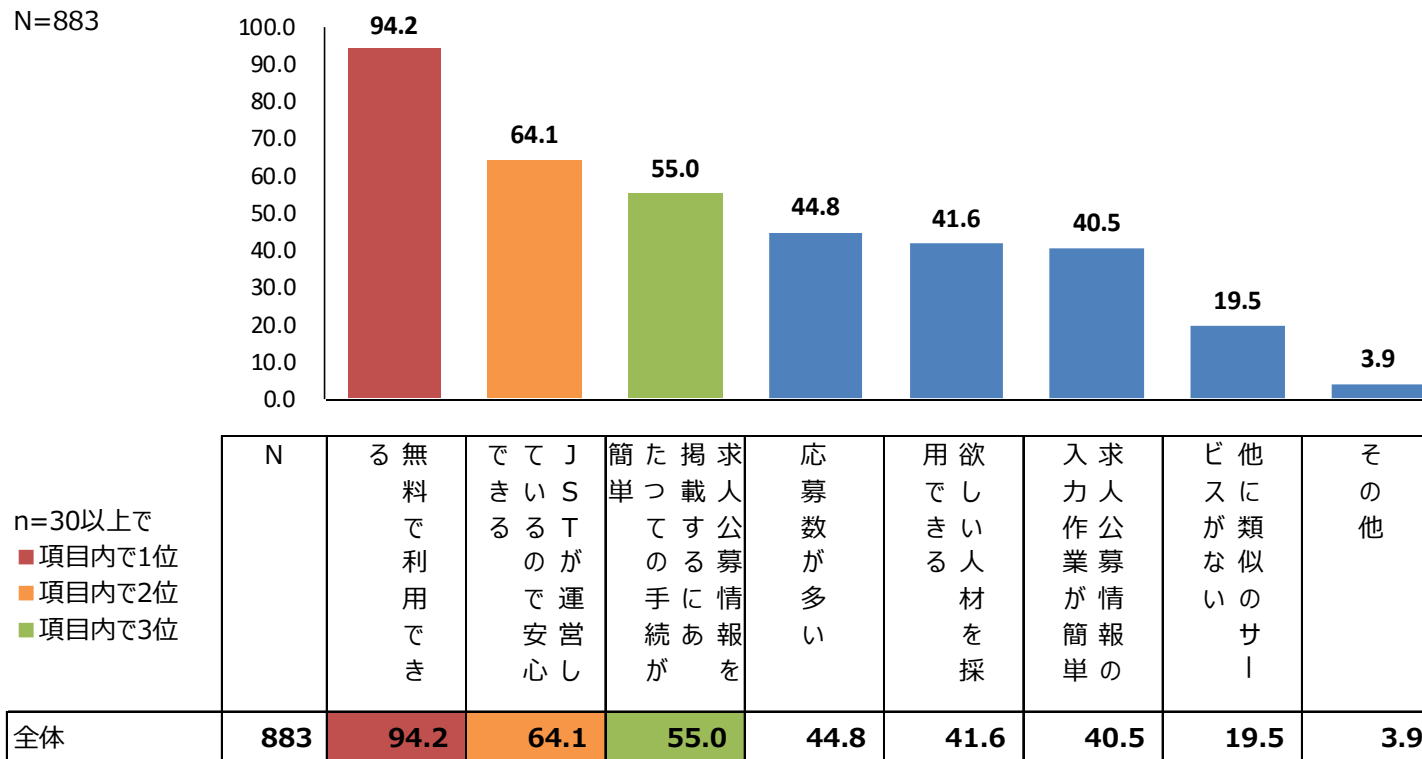
単位：%



問5. 役に立っている(立ちそうな)理由として当てはまるものをお選びください。(複数選択可)

- 役に立っている(立ちそうな)理由は、「無料で利用できる」という回答が94.2%で最も高く、次いで「JSTが運営しているので安心できる」の64.1%、「求人公募情報を掲載するにあたっての手続きが簡単」の55.0%の順に続いている。

JREC-IN Portal「役に立っている・どちらかといえば役に立っている」回答者



※全体値を降順に並び替え

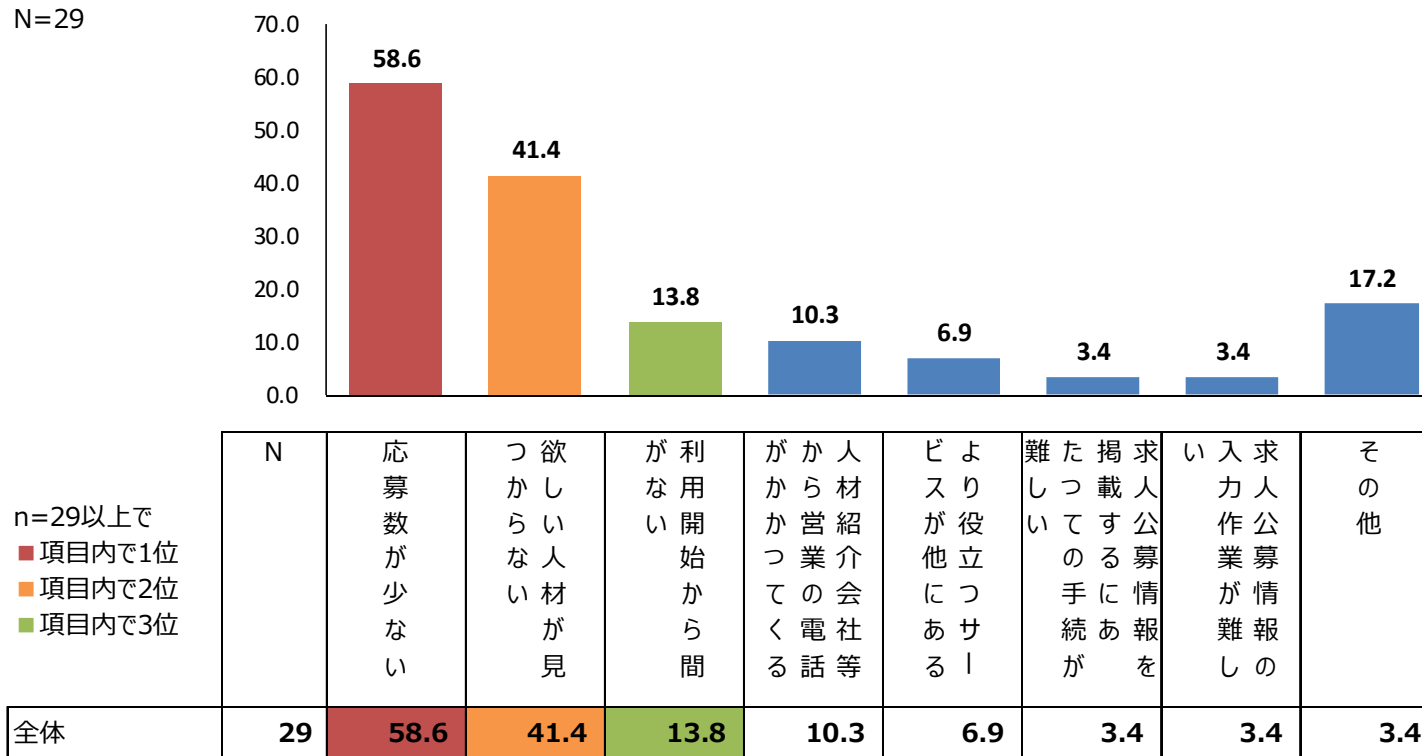
※単位：%

■ 役に立っていない(立ちそうにない)理由

問6. 役に立っていない(立ちそうにない)理由として当てはまるものをお選びください。(複数選択可)

- 役に立っていない(立ちそうにない)理由は、「応募数が少ない」という回答が58.6%で最も高く、次いで「欲しい人材が見つからない」の41.4%、「利用開始から間がない」の13.8%の順が続いている。

JREC-IN Portal「役立っていない・どちらかといえば役立っていない」回答者



N	応募数が少ない	欲しい人材が見つからない	利用開始から間がない	人材紹介会社の話等	より役立ちやすい	難しい	求人掲載の手続きが	求人情報が難しい	その他
29	58.6	41.4	13.8	10.3	6.9	3.4	3.4	3.4	

n=29以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

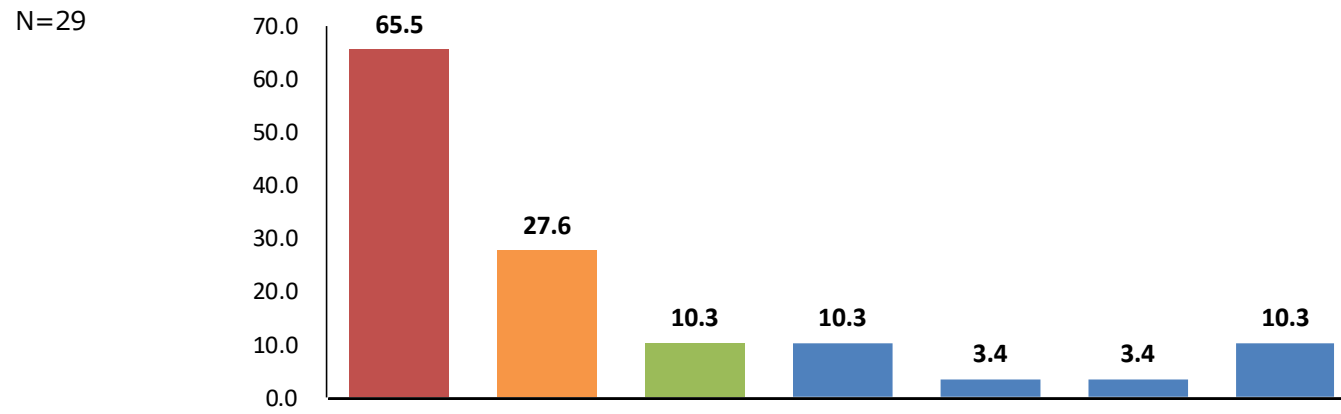
※単位：%

■十分な応募数、欲しい人材の確保に役立たないと考える理由

問7. 十分な応募数、欲しい人材の確保には役立っていないと考える理由は何ですか。（問6の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）（複数選択可）

- 十分な応募数、欲しい人材の確保には役立っていないと考える理由は、「応募者の確保が難しい分野・職種であるため」という回答が65.5%と最も高く、次いで「JREC-IN Portalのユーザーが対象層と合わなかったため」の27.6%、「JREC-IN Portalの機能・サービスを十分活用できていないため」の10.3%の順に続いている。

「応募数が少ない」「欲しい人材が見つからない」回答者



N	種 難 応 で し 募 あ い 者 る 分 の た 野 確 め ・ 保 職 が	か ザ P J つ ー o R た が r E た 対 t C め 象 a - 層 と の N 合 コ わ ー な	き サ P J て ー o R い ビ r E な ス t C い を a - た 十 I め 分 の N 活 機 用 能 で ・	り モ P J な ー o R い シ r E た ヨ t C め ン a - ・ I I P の N R プ が 口 足	十 一 P J 分 W o R な e r E た b t C め 応 a - 募 等 の I I 機 が 能 不	等 載 の P ） 書 公 o の 式 開 r 制 、 方 t 約 期 法 a の 間 ー た 掲 掲	そ の 他	
全体	29	65.5	27.6	10.3	10.3	3.4	3.4	10.3

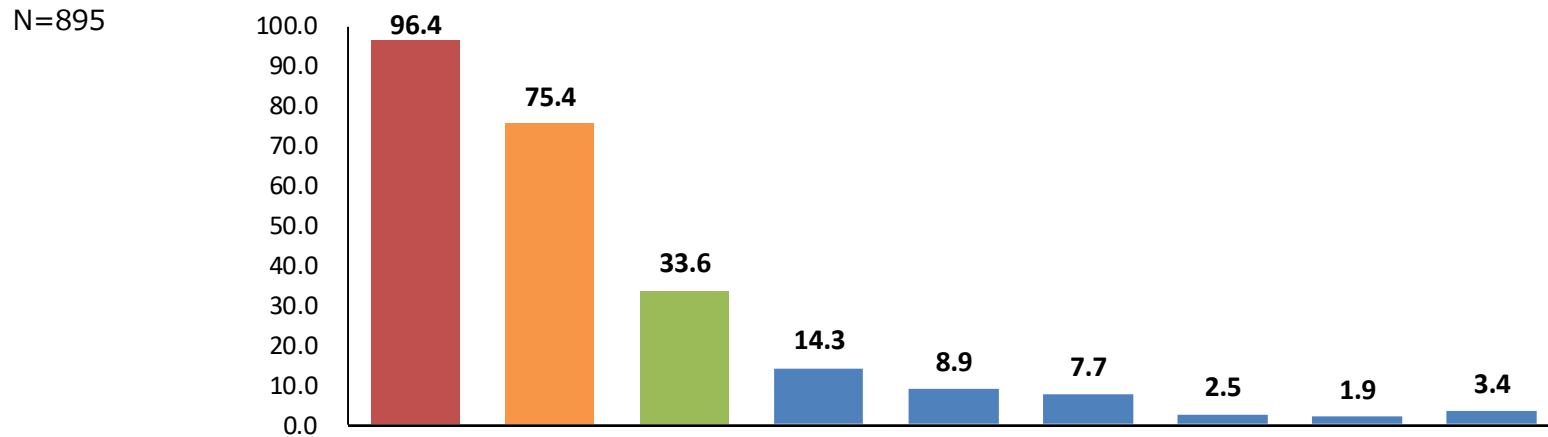
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問8. (任意) 求人公募情報の掲載・提供先をお選びください。(複数選択可)

- 求人公募情報の掲載・提供先は「JREC-IN Portal」という回答が96.4%と最も高く、次いで「自組織のWebサイト」の75.4%、「学協会（学会、Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）」の33.6%の順に続いている。

任意回答



	N	JREC-IN Portal	自組織のWebサイト	学協会（学会、Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）	ハローワーク	国内の民間求職サイト	人材紹介会社	海外の求職サイト	ワーク研究センター	院医情報ネットワーク	UMIN（大学病院）	その他
全体	895	96.4	75.4	33.6	14.3	8.9	7.7	2.5	1.9			3.4

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

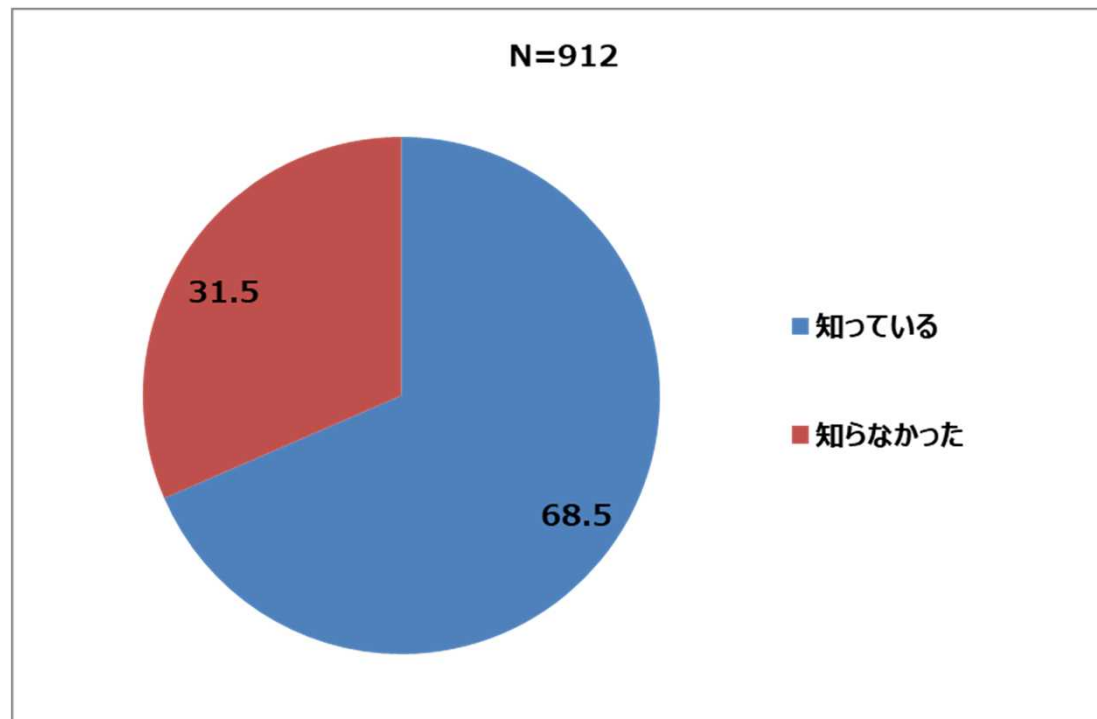
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問9. JREC-IN Portalには求職者がJREC-IN Portal上の求人公募情報から電子化した応募書類を求人機関へ提出することができる機能があります。求人機関は、Webでの応募内容の閲覧やステータス等の管理ができます。Web応募機能をご存じであったか、当てはまるものをお選びください。（1つ選択）

- Web応募機能の認知率は68.5%と、全体の半数以上が認知しているという結果となった。

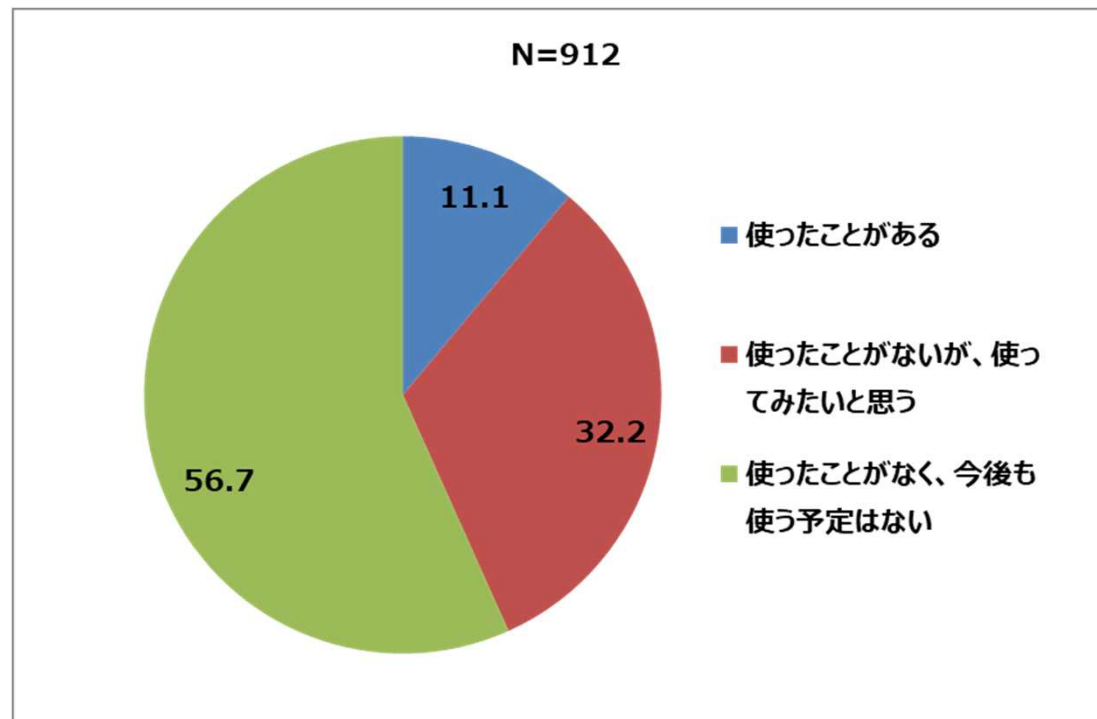
単位：%



問10. Web応募機能をご利用になって求人公募をされたことはありますか。(1つ選択)

- Web応募機能を利用した求人公募を「使ったことがある」という回答は全体の11.1%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が32.2%、一方「今後も使う予定がない」という回答が56.7%であった。

単位：%

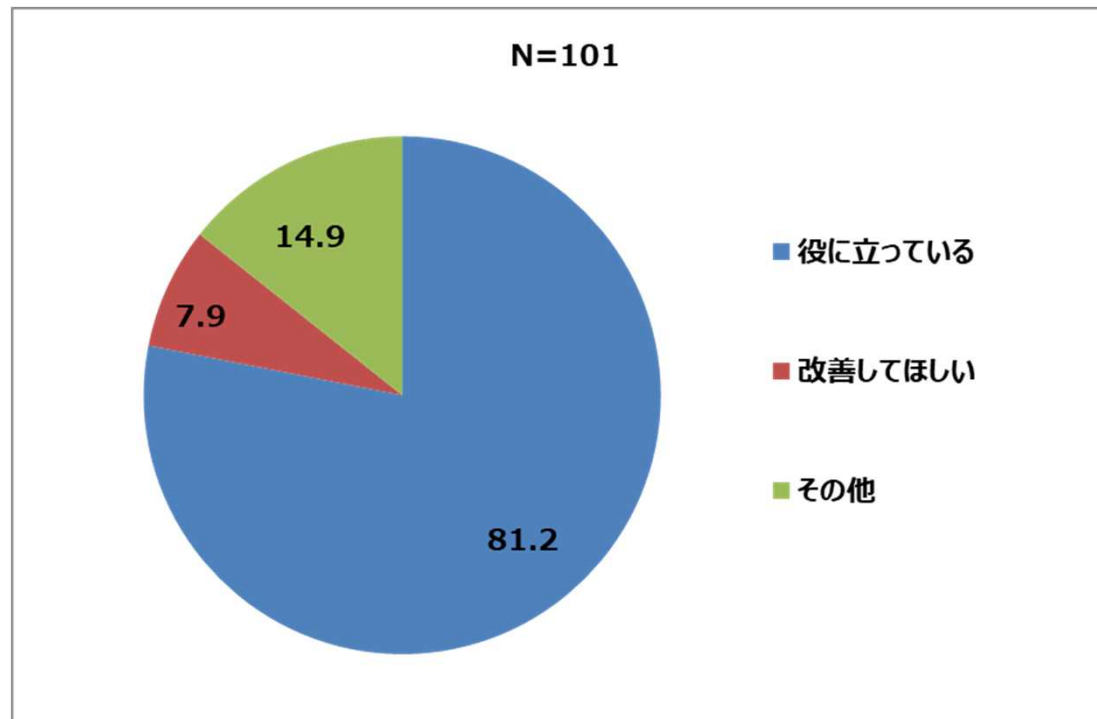


問11. Web応募機能をご利用になってのご感想をお選びください。(1つ選択)

- Web応募機能を利用した感想については、「役に立っている」という回答が81.2%と、全体の8割を占めた。
一方、「改善してほしい」という意見は7.9%となっている。

Web応募機能利用者

単位：%

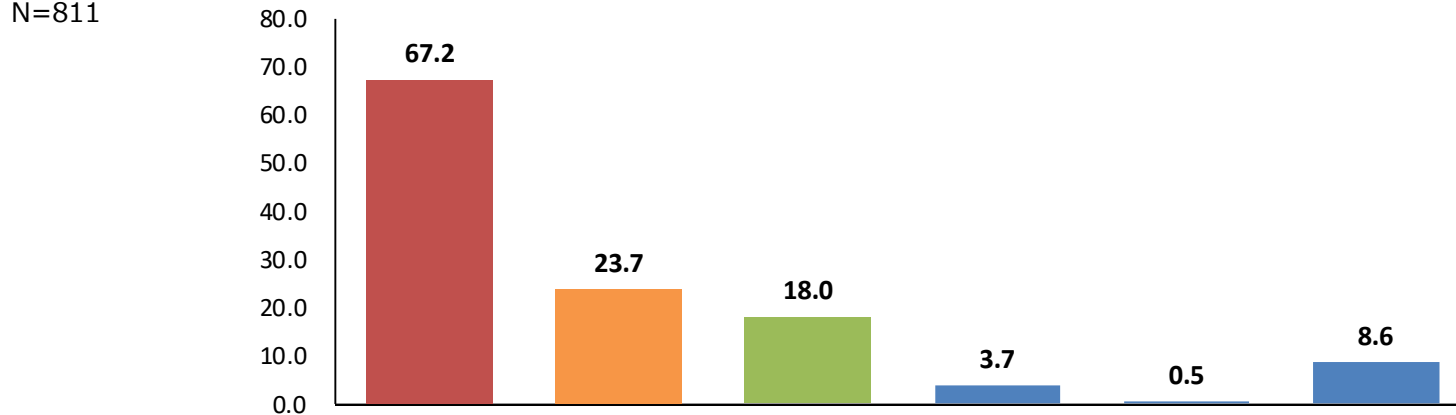


問12. Web応募機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。(複数選択可)

- Web応募機能を利用していない理由としては、「紙や電子媒体での提出物が必要だから」という回答が67.2%と最も高く、次いで「JREC-IN PortalのWeb応募を知らなかった」の23.7%、「自機関へのメール連絡で可能だから」の18.0%の順が続いている。

Web応募機能非利用者

N=811



N	紙や電子媒体での提出物が必要だから		JREC-IN PortalのWeb応募を知らなかった		自機関へのメール連絡で可能だから		Web自機関から申請が不可		Web自機関から申請が不可		その他	
	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)	順位	割合 (%)
811	1位	67.2	2位	23.7	3位	18.0	4位	3.7	5位	0.5	6位	0.5

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

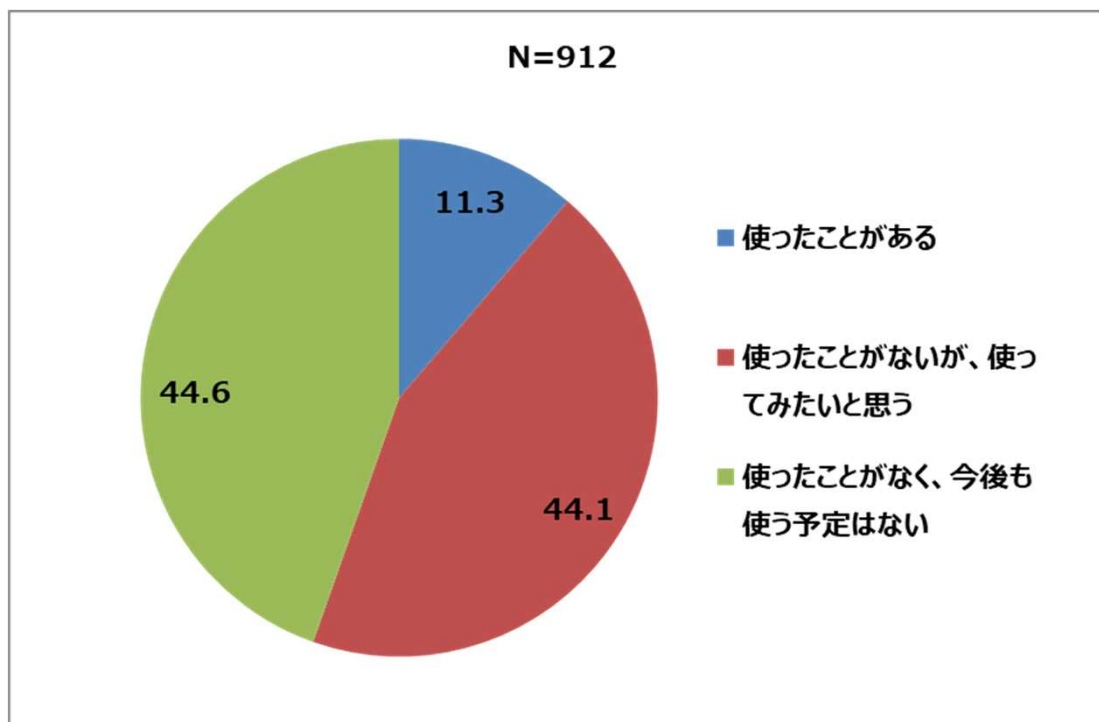
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問13. 求人機関の方は以下の機能をご利用いただけます。
 ・求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧 ・求職者照会メールの送信
 これらの機能を使ったことがありますか。（1つ選択）

- 「求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧機能」および「求職者照会メールの送信機能」を「使ったことがある」という回答は全体の11.3%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が44.1%、一方「今後も使う予定がない」という回答が44.6%であった。

単位：%

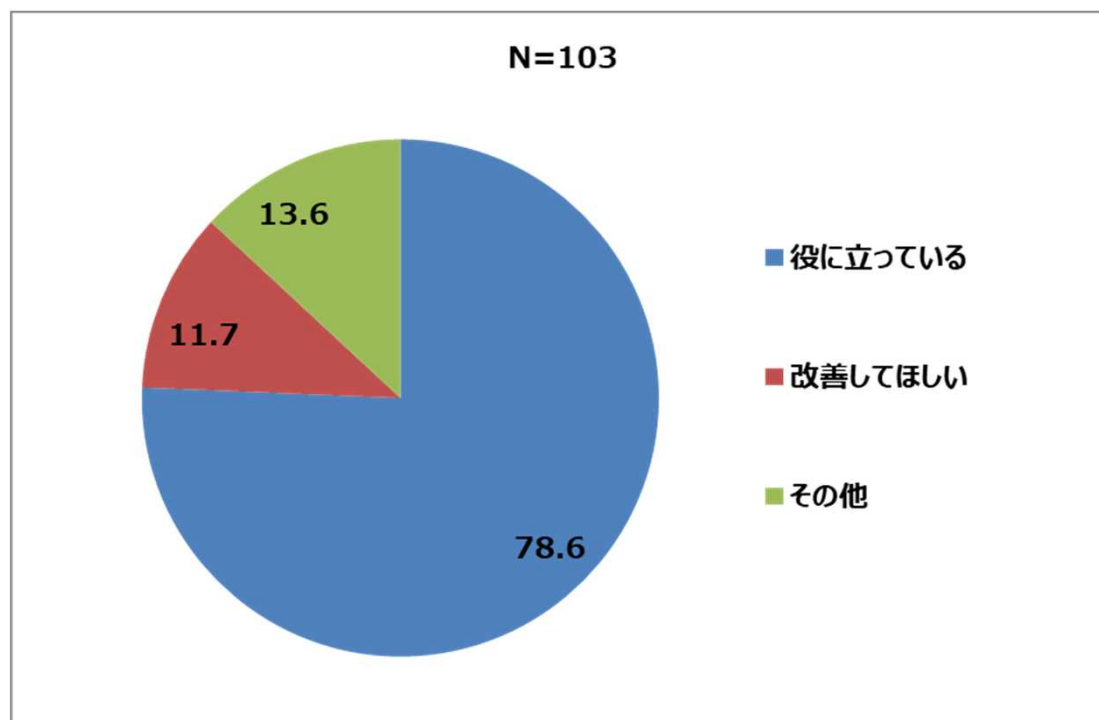


問14. 求職者照会機能をご利用になってのご感想をお選びください。（複数選択可）

- 「求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧機能」および「求職者照会メールの送信機能」を利用した感想については、「役に立っている」という回答が78.6%と、全体の約8割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は11.7%となっている。

求職者照会機能利用者

単位：%

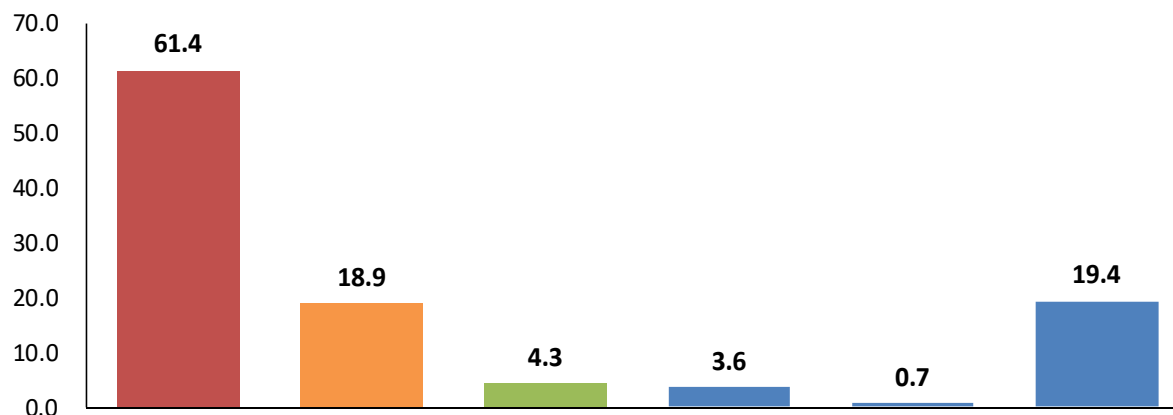


問15. 求職者照会機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。(複数選択可)

- 求職者照会機能を利用していない理由は、「JREC-IN Portalの求職者照会機能を知らなかった」という回答が61.4%と最も高く、次いで「研究者データベース等の公開情報で検索できるから」の18.9%、「JREC-IN Portal以外の求人サイトで検索できるから」の4.3%の順に続いている。

求職者照会機能非利用者

N=809



N	を求 P J 知職 o R ら者 r E な照 t C か会 a - つ機 l I た能 の N	る情ベ研 か報 l 究 らでス者 検等デ 索の l で公タ き開	らで外 P J 検の o R 索求 r E で人 t C きサ a - るイ l I かト以 N	細求 P J で職 o R は者 r E な情 t C い報 a - かが l I ら詳の N	か能求 P J らに職 o R 問者 r E が会 a - あの l I る機 の N	そ の 他	
全体	809	61.4	18.9	4.3	3.6	0.7	0.7

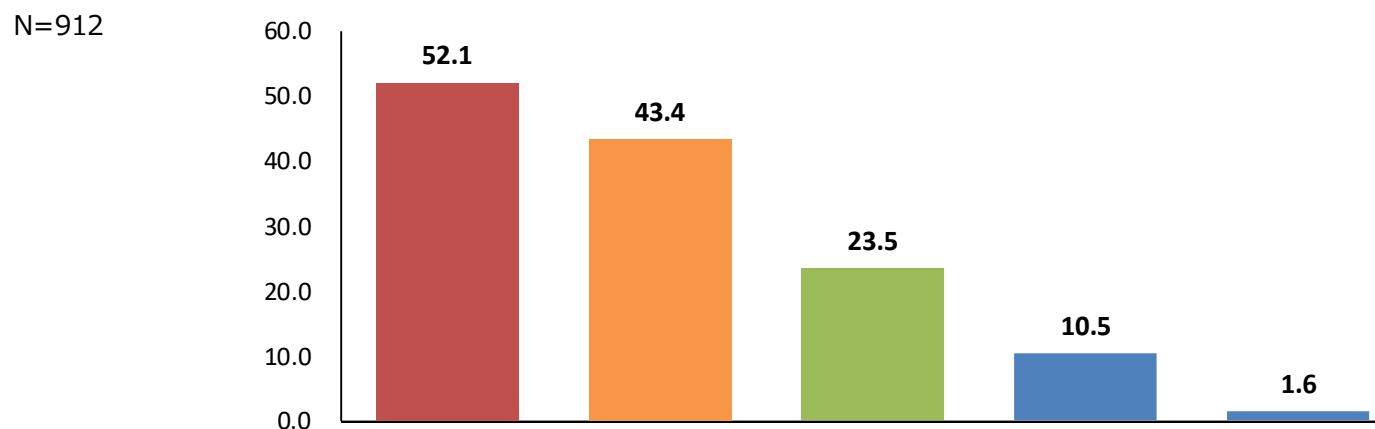
n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問16. 求人公募で受け付ける履歴書フォーマットを下記よりお選びください。(複数選択可)

- 求人公募で受け付けている履歴書フォーマットは、「自組織独自の履歴書フォーマット」が52.1%と最も高く、次いで「様式不問の任意フォーマット」の43.4%、「市販の履歴書フォーマット」の23.5%の順に続いている。「JREC-IN Portalフォーマット」は10.5%であった。



N	自組織独自の履歴書フォーマット	様式不問の任意フォーマット	市販の履歴書フォーマット	JREC-IN Portalフォーマット	その他
912	52.1	43.4	23.5	10.5	1.6

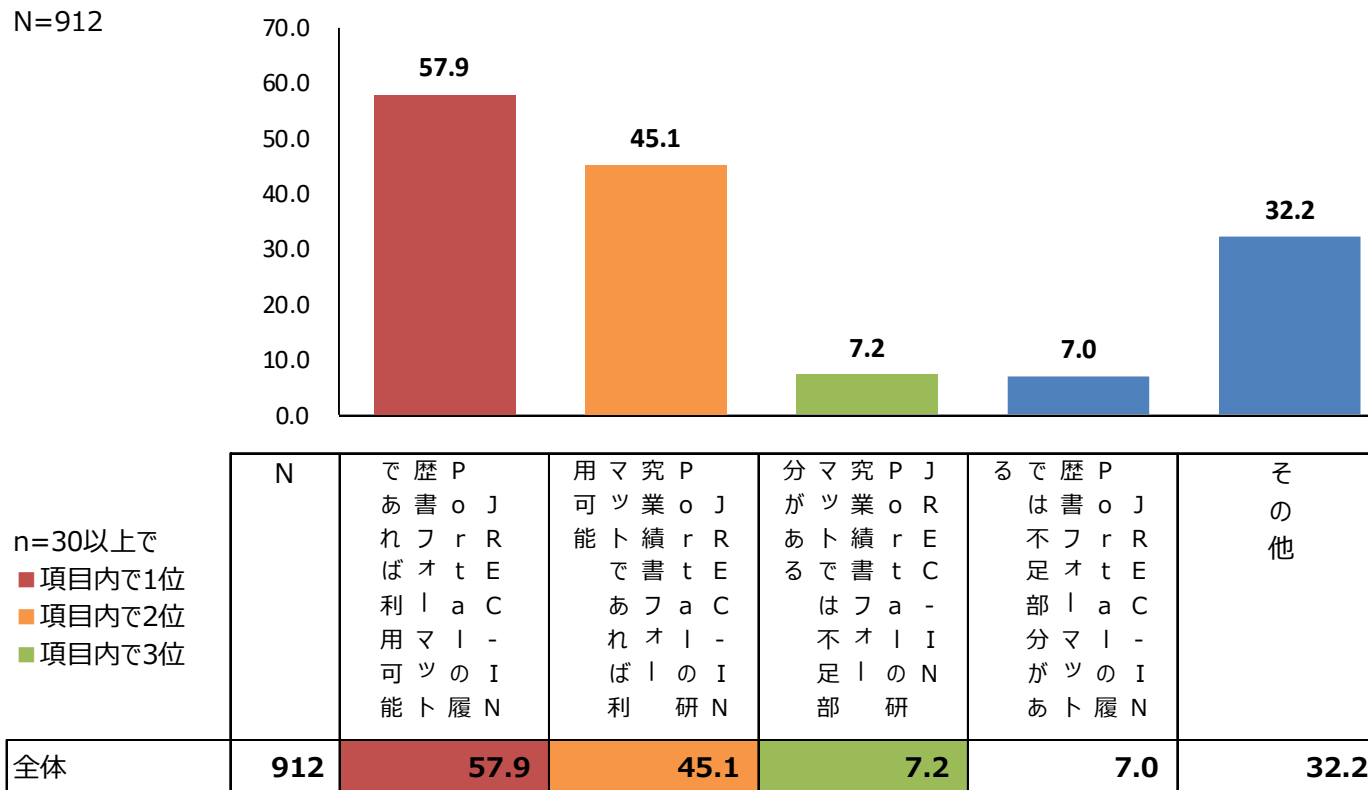
n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問13. 求職者の方々からは、応募書類作成の負担軽減のため、履歴書や研究業績書のフォーマット統一化の実現を強く求められています。現在、JREC-IN Portalでは、履歴書・研究業績書のフォーマット（※）を1種類ずつ用意していますが、書式統一化の実現へご協力いただくために必要なことをお聞かせください。（複数選択可）

- 書式統一化の実現について「JREC-IN Portalの履歴書フォーマットであれば利用可能」という回答が57.9%と最も高く、次いで「JREC-IN Portalの研究業績書フォーマットであれば利用可能」の45.1%と、約半数の人がJREC-IN Portalのフォーマットを利用可能と考えているという結果となった。



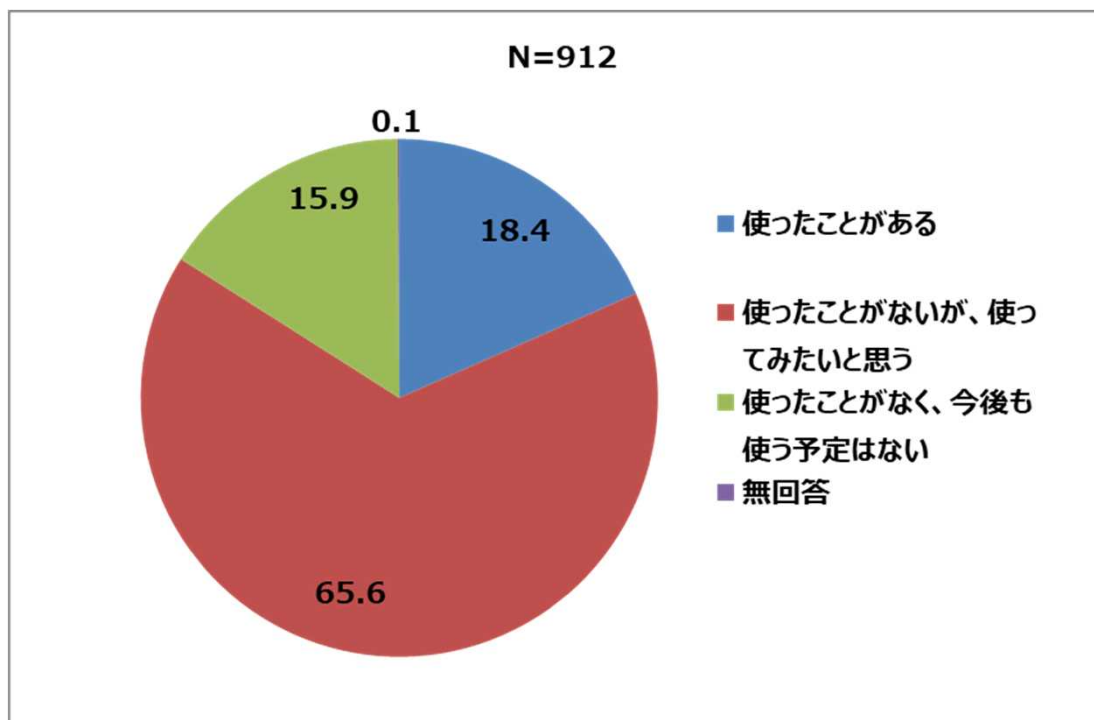
※全体値を降順に並び替え

※単位：%

問18. 平成30年4月から、登録した求人公募情報の閲覧回数を求人機関が確認できる機能を導入しました。この機能を使ったことはありますか？
機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

- 「求人公募情報の閲覧回数確認機能」を「使ったことがある」という回答は全体の18.4%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が65.6%、一方「今後も使う予定がない」という回答が15.9%であった。

単位：%

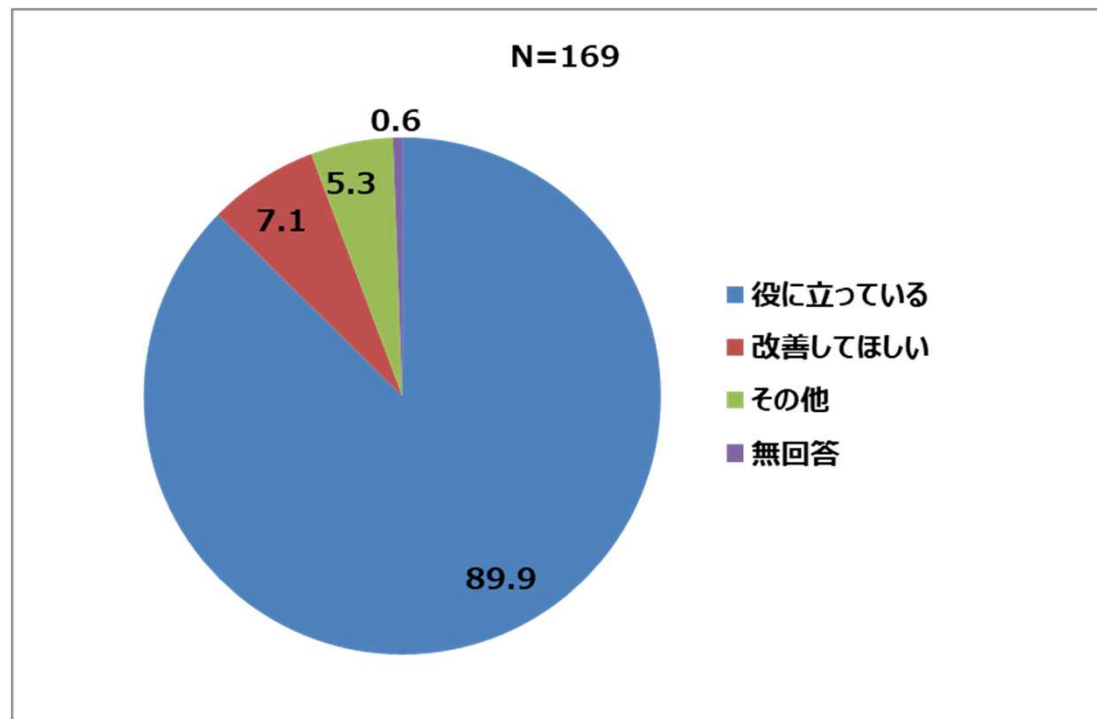


問19. 求人公募情報の閲覧回数を確認できる機能をご利用になってのご感想をお選びください。（複数選択可）

- 「求人公募情報の閲覧回数確認機能」を利用した感想については、「役に立っている」という回答が89.9%と、全体の約9割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は7.1%となっている。

求人公募情報の閲覧回数確認機能利用者

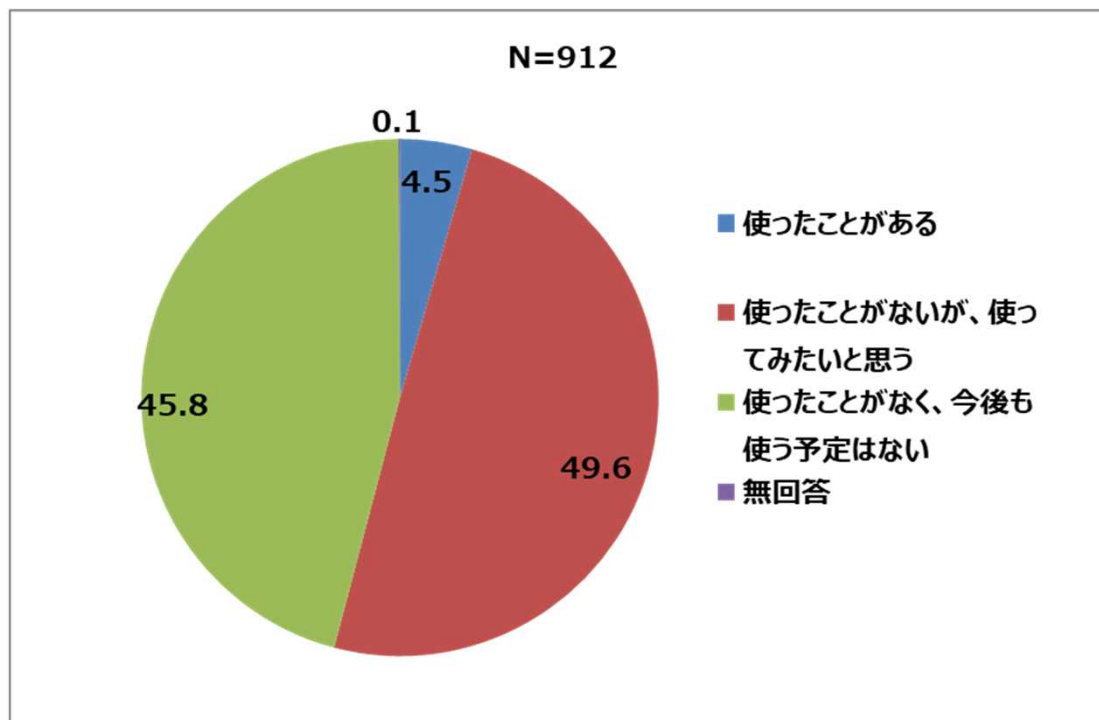
単位：%



問20. 平成30年4月から、Web応募機能の改善として、Web応募再提出時に自動メールが求人機関担当者へ送信されるようになりました。この機能を使ったことはありますか？ 機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

- 「Web応募再提出時の自動メール機能」を「使ったことがある」という回答は全体の4.5%であった。
- 使ったことがないという人のうち、「使ってみたいと思う」という回答が49.6%、一方「今後も使う予定がない」という回答が45.8%であった。

単位：%

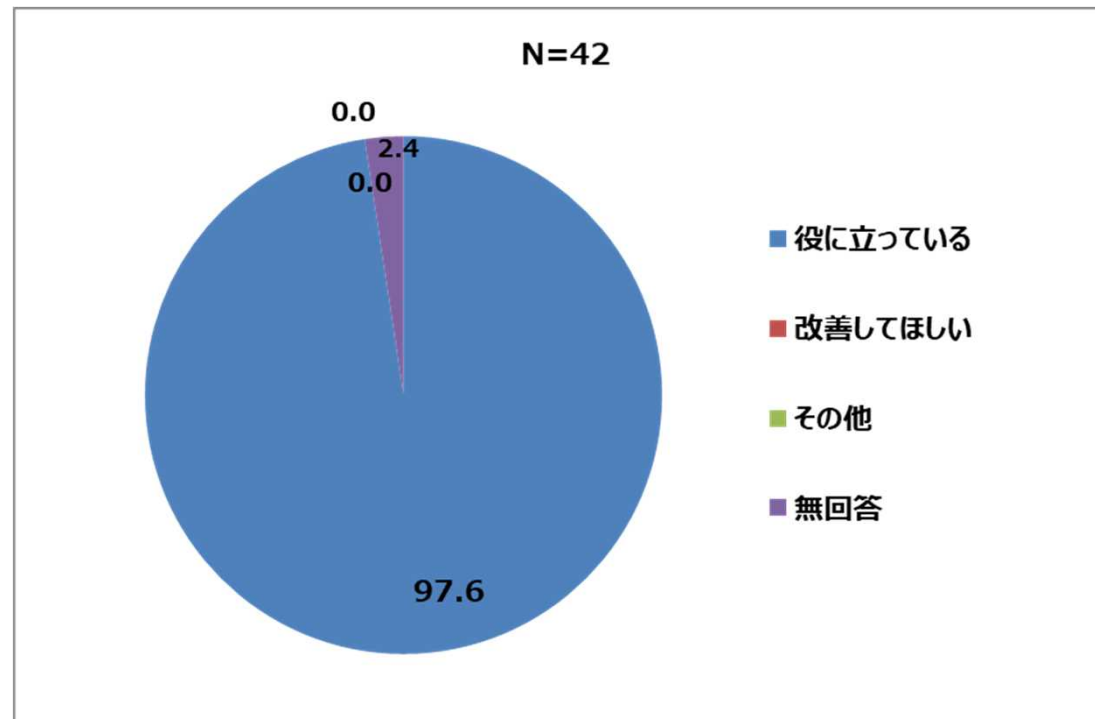


問21. Web応募再提出時に自動メール機能をご利用になってのご感想をお選び下さい。(複数選択可)

- 「Web応募再提出時の自動メール機能」を利用した感想については、「役に立っている」という回答が97.6%と、全体の約9割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は0.0%となっている。

自動メール機能利用者

単位：%



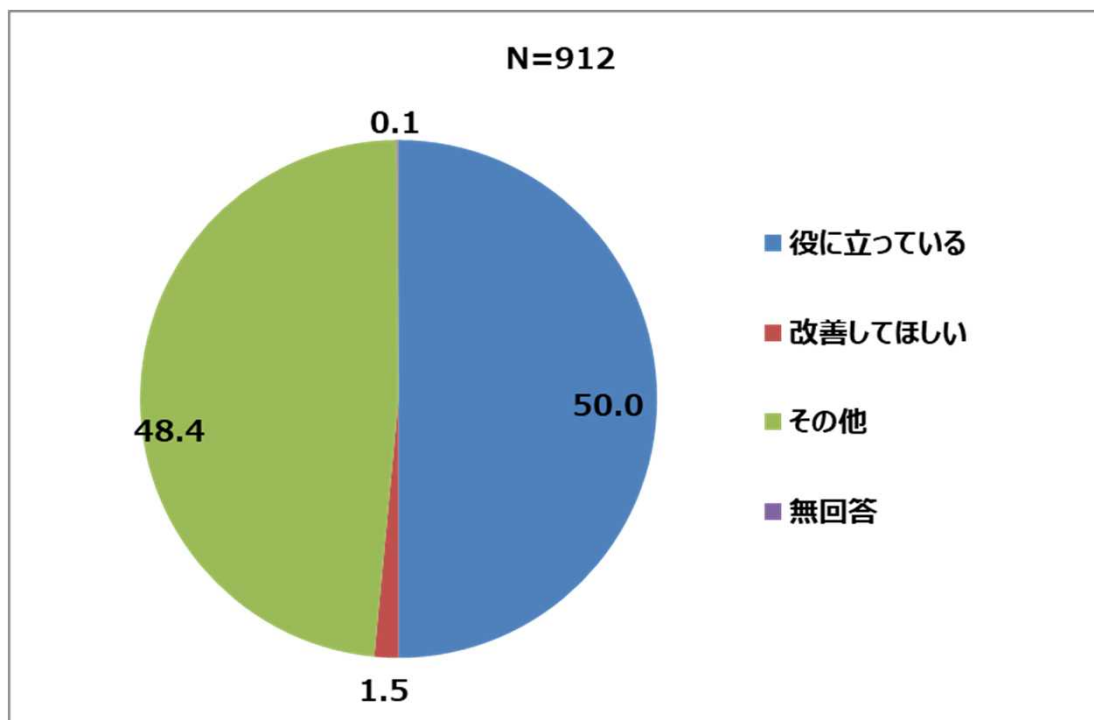
問22. JREC-IN Portalサイトでは、求人機関ご担当者向けに下記1,2のコンテンツを製作し、提供しています。こちらの1.もしくは2.の内容は、お役に立ちますか？（複数選択可）

1.求人・求職・雇用の場面で生じる種々な問題をわかりやすく取り上げたコンテンツ「なぜ、こんなことに！？—マンガで学ぶ求人・求職事例—」

2.Web応募機能の使い方などを動画等でわかりやすく説明した「JREC-IN Portal活用コンテンツ」

- 各コンテンツについて、「役に立っている」という回答が50.0%と、全体の5割を占めた。一方、「改善してほしい」という意見は1.5%となっている。

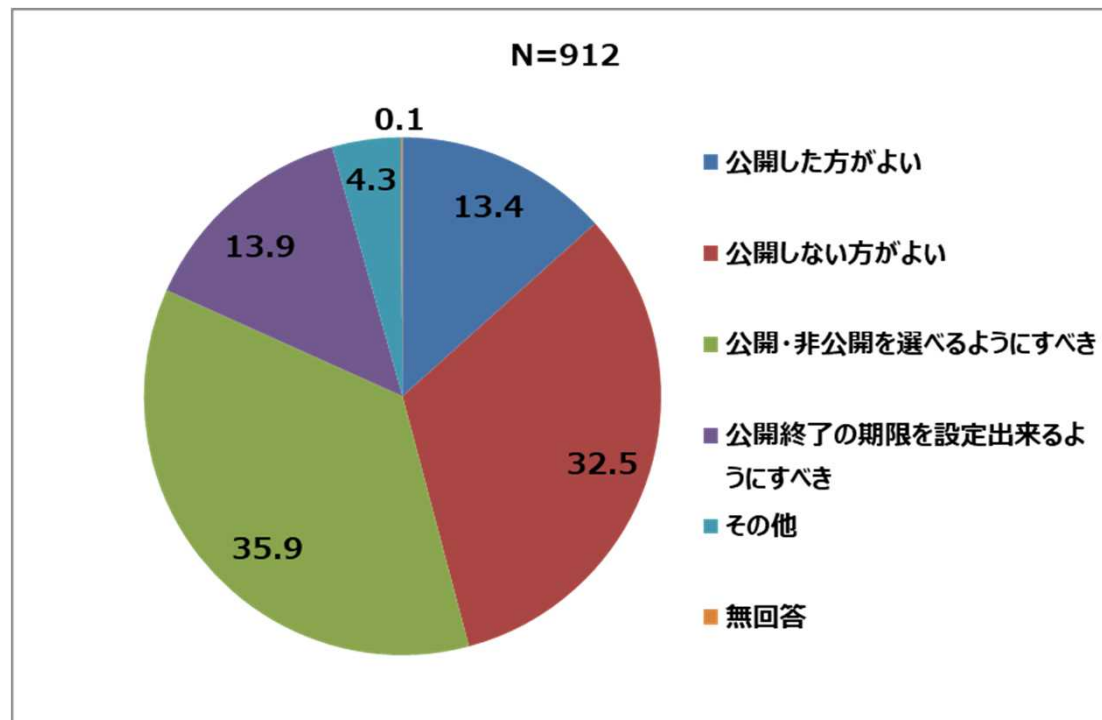
単位：%



問23. JREC-IN Portalサイトでは、募集期間が終了した公募は現在、一律で公開を終了しています。利用者の利便性を考慮し、終了後の公募も公開することについて、ご意見を頂けませんか。（1つ選択）

- 募集期間が終了した公募については、「公開・非公開を選べるようにすべき」という回答が、35.9%と最も高く、次いで「公開しない方がよい」が32.5%、「公開終了の期限を設定出来るようにすべき」が13.9%、「公開した方がよい」が13.4%という結果であった。

単位：%



問24. (任意) JREC-IN Portalについてご意見がございましたらご自由に記載ください。(複数選択可)

■ 回答別に、自由記述回答の一部を抜粋。 ※ランダムに掲載。それ以外の回答はFA集を参照。

【Web応募 N=16】-----

- こちらの指定するフォーマットでの応募が可能になるとよい
- 英語版を記入した際、海外へ公開するか否かを選べるとよい。
- Web応募利用の可能性を検討したいと思いますが、機関側でみれる様式の応募書類が見れるのかわからずヘルプに記載がありません。受付部門(事務)と審査部門(教員)は別ですので、複数アカウント管理が必要です。
- 導入や窓口としてはスピード感が発揮されて効果が高い。しかし実際には人物を見てみないと人事はわからない。

【求人公募の管理 N=6】-----

- 求職者動向がある程度把握できるので便利である。
- 照会の年齢表示を10歳単位ではなく、1~5歳単位に短くしてほしい
- 求職者へ送信するメールの(求職者からの)返信について、未読メールだけをソートできる機能を是非追加してください。未読メールを探し出すのに毎回大変苦労しています。

【公募入力項目について N=16】-----

- web応募やフォーマット統一を掲載の必須条件とすれば、利用機関は従わざるを得ないのではないだろうか。担当者としては、強制力がある方が内部の調整を行いやすい。
- 入力項目に文字数上限がある項目の上限を引き上げてほしい。英語ページで添付書類に全角文字のファイル名を受け付けるようにしてほしい。
- 未経験者も含めて広く技術補助員の公募をしたかったのですが、xxの経験があること、等の条件を付けるよう強制されたのは非常に残念でした。未経験者でも研究室内のトレーニングで十分戦力になるのに。
- 入力欄が大括りすぎて(例えば応募方法と連絡先が同じフィールドであるなど)、入力後に確認しづらいように思います。求職者の方も読みにくいのでは、と思いますので、もう少し細分化してはどうでしょうか。
- 日本語ページと英語ページの切替が見づらいです。また、情報入力時に掲載時のイメージを見れると助かります。

【JREC-IN Portalからの情報発信 N=5】-----

- 医歯薬枠では看護・臨床などの求人がいつまでも余っている。M3など、ふさわしい人材が登録しているサイトと連携(広告を出す?)すべき。
- もっと、新聞、専門誌、情報媒体で露出度を高めて欲しいです。多くの方からのアクセスがあるように。

【その他 N=118】-----

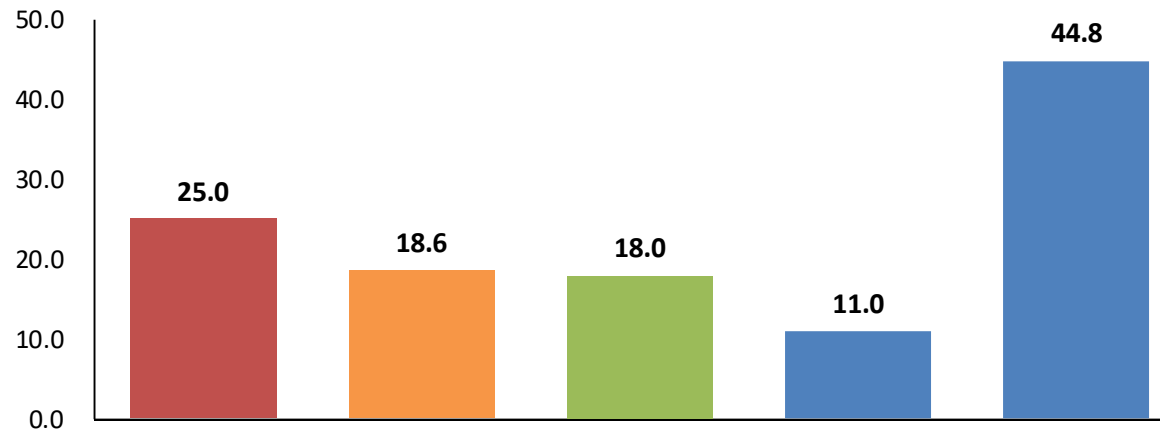
- 今回初めて使用したが、メールでアドバイスもあり比較的スムーズに処理することができた。
- 公募分野、機関の種類、常勤/非常勤、女性限定など統計をとって、これを利用する範囲にはなりますが、求人動向の統計をとってその経年変化をとってはどうか。
- 常勤希望でも非常勤で引き受ける意思があるかどうかの表示があるとありがたい。
- Indeed等、外部の人材募集サイトに情報提供していることをもっとアピールしたほうがよい。
- 現時点では小職が個人情報セキュリティに配慮した取扱いや会議で使用しようとするに紙にせざるを得ません。これらのことの機関側の利用方法ガイドの充実を望みます
- 応募者の本気度合いがわかると嬉しい。とりあえず登録したけど、いいのがあれば転職しようかなという人であればこちらから応募促すメールをしないので。
- 博士人材を採用するために大変重宝しております。今後も利用させていただきたいと思います。
- JREC-INのおかげで全く面識のない多数の応募者の中からふさわしい人材を選んで感謝している。推薦書やコネといわれるものも、少数の人から見ての評価になるので必ずしも適職者になるには限らないので。
- 履歴書の書式を統一することは応募者の負担軽減のために望ましいと思う。
- 応募条件を修正した際、修正内容を備考欄へ入力するよう指摘がありましたが応募者に開示する必要があるのかと感じました。運営側での把握が必要であれば記入以外の方法(メール等)をご検討いただければ幸いです
- 過去に不採用となった者であることに気付かず(氏名等が非公開のため)、再度コンタクトをとってしまうことがあるので、求職者と公募機関との過去のやりとりが閲覧できると大変ありがたいです

問25. (任意) 今後JREC-IN Portalで開催してほしいイベントはありますか。(複数選択可)

- 今後開催してほしいイベントは、「求人機関向け機能の説明会」が25.0%と最も高く、次いで「求人機関の事例紹介」の18.6%、「求職者との交流会」の18.0%の順に続いている。

任意回答

N=172



	N	求人機関向け機能の説明会	求人機関の事例紹介	求職者との交流会	キャリア支援機との交流会	その他
全体	172	25.0	18.6	18.0	11.0	44.8

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

※全体値を降順に並び替え

※単位：%



質問票

問1. 貴機関の種別をお選びください。（1つ選択）

1. 国立大学
2. 公立大学
3. 私立大学
4. 短期大学
5. 高等専門学校
6. 専門学校(専修学校専門課程)
7. その他教育機関（小中高等学校、大学校）
8. 大学共同利用機関法人・独立行政法人・国立研究機関・省庁等
9. 公設試験研究機関・地方自治体等
10. 特殊法人・認可法人
11. 公益法人
12. 民間企業
13. 海外研究機関（大学・公的研究機関）
14. 国際機関
15. その他（自由記述）

問2. ご自身の所属部署として最も該当すると思われるものを以下より1つ選択してください。（1つ選択）

1. 採用者の配属部署
2. 総務・人事担当部署
3. その他（自由記述）

問3. ご自身が応募者の募集・選考・採用にどのように関わっているか、該当すると思われる項目を以下よりお選びください。（複数選択可）

1. 求人公募情報のJREC-IN Portalへの入力等掲載手続きを行っている
2. 自部署の求人公募情報を一元管理をしている
3. 他部署を含めて求人公募情報を一元管理をしている
4. 求人内容（業務内容・必要とする資格等）を決定する
5. 応募者の採用審査を行っている
6. 採用者を決定する
7. その他（自由記述）

問4. JREC-IN Portalは求人活動に役立っていますか。または、役に立ちそうですか。（1つ選択）

1. 役立っている
2. どちらかといえば役立っている
3. どちらかといえば役立っていない
4. まったく役立っていない

問5. 役に立っている（立ちそうな）理由として当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

1. 無料で利用できる
2. 応募数が多い
3. 欲しい人材を採用できる
4. 求人公募情報を掲載するにあたっての手续が簡単
5. 求人公募情報の入力作業が簡単
6. JSTが運営しているので安心できる
7. 他に類似のサービスがない
8. その他（自由記述）

問6. 役に立っていない（立ちそうにない）理由として当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

1. 応募数が少ない
2. 欲しい人材が見つからない
3. 人材紹介会社等から営業の電話がかかってくる
4. 求人公募情報を掲載するにあたっての手续が難しい
5. 求人公募情報の入力作業が難しい
6. より役立つサービスが他にある（自由記述）
7. 利用開始から間がない
8. その他（自由記述）

問7. 十分な応募数、欲しい人材の確保には役立っていないと考える理由は何ですか。（問6の回答にかかわらず、当てはまるものをすべてお選びください）（複数選択可）

1. 応募者の確保が難しい分野・職種であるため
2. JREC-IN Portalのユーザーが対象層と合わなかったため
3. JREC-IN Portalの機能（Web応募等）が不十分なため
4. JREC-IN Portalでの公開方法（掲載書式、期間等）の制約のため
5. JREC-IN Portalの機能・サービスを十分活用できていないため
6. JREC-IN Portalのプロモーション・PRが足りないため
7. その他（自由記述）

問8. 求人公募情報の掲載・提供先をお選びください。（複数選択可）

1. JREC-IN Portal
2. 自組織のWebサイト
3. 学協会（学会Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）
4. UMIN（大学病院医療情報ネットワーク研究センター）
5. 国内の民間求職サイト
6. 海外の求職サイト
7. 人材紹介会社
8. ハローワーク
9. その他（自由記述）

問9. JREC-IN Portalには求職者がJREC-IN Portal上の求人公募情報から電子化した応募書類を求人機関へ提出することができる機能があります。求人機関は、Webでの応募内容の閲覧やステータス等の管理ができます。Web応募機能をご存じであったか、当てはまるものをお選びください。（1つ選択）

1. 知っている
2. 知らなかった

問10. Web応募機能をご利用になって求人公募をされたことはありますか。Web応募機能を使ったことがなく、今後も使う予定がないを選んだ方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない

問11. Web応募機能をご利用になってのご感想をお選びください。また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。（1つ選択）

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問12. Web応募機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。（複数選択可）

1. JREC-IN PortalのWeb応募を知らなかった
2. 自機関サイトでWeb申請が可能だから
3. 自機関へのメール連絡が可能だから
4. 紙や電子媒体での提出物が必要だから
5. JREC-IN PortalのWeb応募に問題があるから
6. その他（自由記述）

問13. 求人機関の方は以下の機能をご利用いただけます。

- ・求職者のアピール情報（求職者情報）の検索・閲覧
- ・求職者照会メールの送信

これらの機能を使ったことがありますか。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない

問14. 求職者照会機能をご利用になってのご感想をお選びください。また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。（1つ選択）

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問15. 求職者照会機能をご利用になっていない理由をお選び下さい。（複数選択可）

1. JREC-IN Portalの求職者照会機能を知らなかった
2. JREC-IN Portal以外の求人サイトで検索できるから
3. 研究者データベース等の公開情報で検索できるから
4. JREC-IN Portalの求職者情報が詳細ではないから
5. JREC-IN Portalの求職者照会の機能に問題があるから
6. その他（自由記述）

問16. 求人公募で受け付ける履歴書フォーマットを下記よりお選びください。（複数選択可）

1. 自組織独自の履歴書フォーマット
2. JREC-IN Portal作成のフォーマット
3. 市販の履歴書フォーマット
4. 様式不問の任意フォーマット
5. その他（自由記述）

問17. 求職者の方々からは、応募書類作成の負担軽減のため、履歴書や研究業績書のフォーマット統一化の実現を強く求められています。

現在、JREC-IN Portalでは、履歴書・研究業績書のフォーマット（※）を1種類ずつ用意していますが、書式統一化の実現へご協力いただくために必要なことをお聞かせください。3,4,5を選んだ方は、追加希望項目や理由を具体的にお知らせください。（複数選択可）

1. JREC-IN Portalの履歴書フォーマットであれば利用可能
2. JREC-IN Portalの研究業績書フォーマットであれば利用可能
3. JREC-IN Portalの履歴書フォーマットでは不足部分がある
4. JREC-IN Portalの研究業績書フォーマットでは不足部分がある
5. その他（自由記述）

問18. 平成30年4月から、登録した求人公募情報の閲覧回数を求人機関が確認できる機能を導入しました。この機能を使ったことはありますか？

機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う（自由記述）
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない（自由記述）

問19. 求人公募情報の閲覧回数を確認できる機能をご利用になってのご感想をお選びください。（複数選択可）また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問20. 平成30年4月から、Web応募機能の改善として、Web応募再提出時に自動メールが求人機関担当者へ送信されるようになりました。この機能を使ったことはありますか？機能を使ったことがない方は、理由をお聞かせ下さい。（1つ選択）

1. 使ったことがある
2. 使ったことがないが、使ってみたいと思う（自由記述）
3. 使ったことがなく、今後も使う予定はない（自由記述）

問21. Web応募再提出時に自動メール機能をご利用になってのご感想をお選び下さい。（複数選択可）また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問22. JREC-IN Portalサイトでは、求人機関ご担当者向けに下記1,2のコンテンツを製作し、提供しています。

1. 求人・求職・雇用の場面で生じる種々な問題をわかりやすく取り上げたコンテンツ「なぜ、こんなことに！？—マンガで学ぶ求人・求職事例—」
2. Web応募機能の使い方などを動画等でわかりやすく説明した「JREC-IN Portal活用コンテンツ」

こちらの1.もしくは2.の内容は、お役に立ちますか？（複数選択可）

1. 役に立っている（自由記述）
2. 改善してほしい（自由記述）
3. その他（自由記述）

問23. JREC-IN Portalサイトでは、募集期間が終了した公募は現在、一律で公開を終了しています。利用者の利便性を考慮し、終了後の公募も公開することについて、ご意見を頂けますでしょうか。（1つ選択）

1. 公開した方がよい（自由記述）
2. 公開しない方がよい（自由記述）
3. 公開・非公開を選べるようにすべき（自由記述）
4. 公開終了の期限を設定出来るようにすべき（自由記述）
5. その他（自由記述）

問24. JREC-IN Portalについてご意見がございましたらご自由に記載ください。（複数選択可）

1. Web応募（自由記述）
2. 求人公募の管理（自由記述）
3. 求職者照会（自由記述）
4. 公募入力項目について（自由記述）
5. JREC-IN Portalからの情報発信（自由記述）
6. その他（自由記述）

問25. 今後JREC-IN Portalで開催してほしいイベントはありますか。（複数選択可）また、その理由を自由記入いただけますと幸いです。

1. 求人機関向け機能の説明会（自由記述）
2. 求人機関の事例紹介（自由記述）
3. 求職者との交流会（自由記述）
4. キャリア支援機関との交流会（自由記述）
5. その他（自由記述）

問26.年齢をお選びください。(1つ選択)

1. 10代
2. 20代
3. 30～34歳
4. 35～39歳
5. 40～44歳
6. 45～49歳
7. 50代
8. 60代
9. 70代以上

問27.現在お住まいの地域をお選びください。(1つ選択)

1. 日本
2. 日本以外(自由記述)

問28.現在の所属をお選びください。※複数ある場合は主たるもの(1つ選択)

1. 大学・短大
2. 公的研究機関
3. その他公的機関(官公庁、公益法人等)
4. 大学・短大以外の教育機関
5. 企業
6. 病院等医療機関
7. 所属なし(個人)
8. その他

問29.現在の職種をお選びください。複数ある場合は主たるもの(1つ選択)

1. 機関の長相当(学長、研究所長等)
2. 教授相当(大学・高専等の教授、研究機関の部・室・グループ長等)
3. 准教授・常勤専任講師相当(大学・高専等の准教授、常勤専任講師、研究機関の主任研究員等)
4. 助教相当(大学・高専等の助教等)
5. 研究員・ポスドク相当(研究機関の研究員、リサーチフェロー等)
6. 非常勤講師相当(大学・高専等の非常勤講師等)
7. 研究・教育補助者相当(助手、テクニカルスタッフ、テクニシャン、技術員、研究補助員、実験補助員、実習指導員等)
8. 研究管理者相当(リサーチアドミニストレータ、コーディネータ、プログラムオフィサー等)
9. 研究開発・技術者相当(研究開発者、技術者、エンジニア等)
10. 専門学校・小中高等の教員相当(専門学校の教員、小中高等学校の教員等)
11. コミュニケーター相当(広報、サイエンスコミュニケーター、科学技術スペシャリスト、科学技術ジャーナリスト等)

12. 学生(博士)
13. 学生(修士・学部)
14. 企画
15. 設計・開発
16. 製造
17. 営業・販売
18. 調査・コンサルティング
19. 一般事務
20. 医師
21. 看護師
22. なし
23. その他

問30.現在の雇用の任期をお選びください。(残りではなく着任から数えた全体の期間。形式上は毎年度の更新制であっても実質的に保証されていると思われる場合はその期間)(1つ選択)

1. 1年以下
2. 1年を超えて2年以下
3. 2年を超えて3年以下
4. 3年を超えて4年以下
5. 4年を超えて5年以下
6. 5年を超える(有期)
7. 無期
8. 求職中
9. その他

問31.あなたの専門に最も近い分野をひとつお選びください。(1つ選択)

1. 人文学
2. 社会科学
3. 数物系科学
4. 化学
5. 工学
6. 生物学
7. 農学
8. 医歯薬学
9. 芸術
10. 総合領域
11. 複合新領域
12. 上記のどれにも当てはまらない